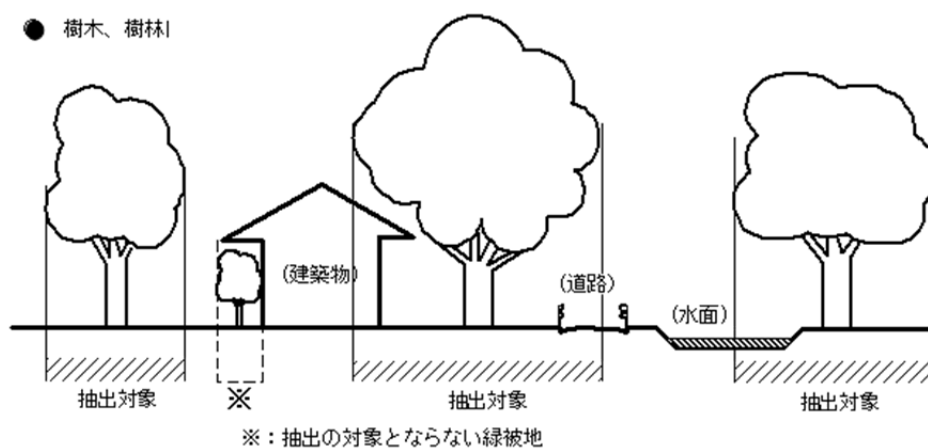


第3章 緑被の状況

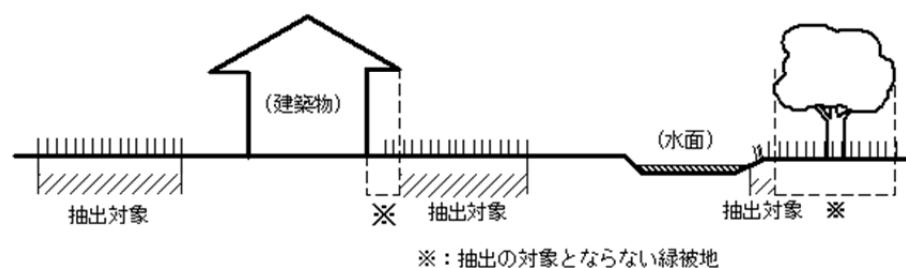
3-1 調査の概要

緑被率とは、「緑被率標準調査マニュアル（昭和 63 年 10 月東京都）」に基づき航空写真から判読・抽出した、樹林や草などの緑に覆われた部分（緑被）の占める面積割合のことである。

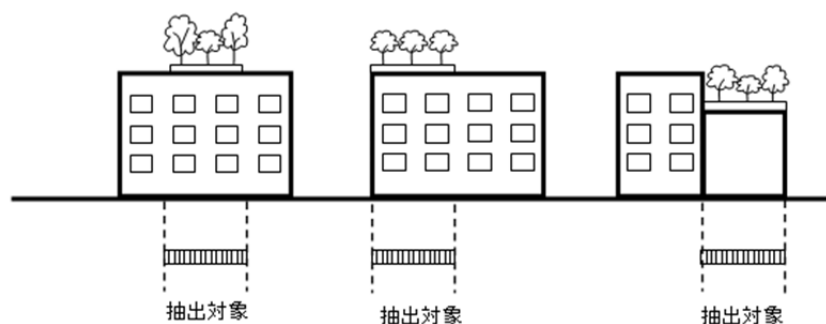
● 樹木、樹林



● 草地



● 屋上緑地



（東京都「緑被率標準調査マニュアル」昭和 63 年 10 月を基にして作成）

図 3-1 緑被地の考え方

1) 航空写真撮影

(1) 撮影機材

写真撮影は、撮影は平成 28 年 7 月 7 日に GPS/IMU 装置^{※1}を搭載したデジタルセンサー航空写真カメラを用いて実施した。樹木の倒れ込みを極力少なくするために、撮影重複度はオーバーラップ（航空機進行方向の重複度）、サイドラップ（航空機のコース間の重複度）ともに 60%とした。また、可視域と近赤外域の画像データを同時に取得した。

撮影諸元を表 3-1、撮影コースを図 3-2 に示す。

本撮影は、公共測量作業規程に準拠して実施し、国土地理院に申請を行った。

表 3-1 撮影諸言

項 目	摘 要
撮 影 範 囲	中野区全域 (15.59 k m ²)
撮 影 時 期	平成 28 年 7 月 7 日
撮 影 縮 尺	1/10,000
撮 影 コ ー ス	南北方向 10 コース
撮 影 重 複 度	オーバーラップ (60%)、サイドラップ (60%)
デ ジ タ ル 計 測 機 器	Z/I IMAGING 社製航空エリアセンサーDMC
取 得 画 像 デ ー タ	可視 3 波長帯、近赤外 1 波長帯（全ての波長帯において同時撮影および同一箇所を撮影）
地 上 解 像 度	約 10 c m

(2) GPS/IMU 解析

- ① 航空機と地上基準局の GPS を使用して、「連続キネマティック測量^{※2}」を実施するため、既設の最適な電子基準点「練馬」を選定した。
- ② 航空機に搭載された GPS/IMU の観測データと電子基準点で取得した観測データを解析し、画像標定に用いた。また、直接標定結果の精度を保証するため、地上検証点での検証を行った。

(3) カラーデジタルオルソデータ及び赤外カラーデジタルオルソデータ作成
航空機デジタルマルチエリアセンサー※³ で取得した画像データ、
GPS/IMU 解析及び、その他の資料を基に正射投影変換処理を行い、カラーデジタルオルソデータ※⁴ 及び赤外カラーデジタルオルソデータ※⁵ を作成した。

(4) 調査方法

(3) で作成した近赤外カラーデジタルオルソデータを用いて緑被地の自動抽出を行ったのち、カラーデジタルオルソデータの目視判読により以下に示す項目の緑被地を抽出した。

なお、緑被地の抽出精度は 1 m² (東京都緑被率標準調査マニュアルにおける水準 I) とした。

- 樹 木：樹木、樹林に覆われた土地
- 草 地：芝地を含む草地で、樹木、樹林に覆われた部分を除く
- 屋上緑化：構造物上に植栽された樹木被覆地、草地等で面的に広がりを持つもの
- 裸 地：グラウンド、駐車場等の人工被覆以外の土地、工事中の裸地も含む
- 水 面：湖沼、河川等の水面、但しプールは除く

また、緑被率、樹木率、草地率、屋上緑化率は以下に示す計算式による。

$$\text{緑被率} = \frac{\text{緑被地（樹木面積 + 草地面積 + 屋上緑化面積）}}{\text{緑被率対象面積}}$$

$$\text{樹木率} = \frac{\text{樹木面積}}{\text{緑被率対象面積}}$$

$$\text{草地率} = \frac{\text{草地面積}}{\text{緑被率対象面積}}$$

$$\text{屋上緑化率} = \frac{\text{屋上緑化面積}}{\text{緑被率対象面積}}$$

※1 GPS/IMU 装置：GPS は米国の衛星群を用いた測位システムで、IMU は機器の傾き等を知るための計測装置である。これらを組み合わせることにより、航空機の位置と姿勢を高精度に知ることができる。

※2 連続キネマティック測量：キネマティック測量とは GPS のアンテナ

を移動しながら行う測量のことで、静止している基準局との同時観測を行うことによって高精度な測位を行う。連続キネマティック測量は、GPS アンテナが静止しない測位方法を言う。

※3 航空機デジタルマルチエリ阿森サースystem：従来の測量用航空カメラに変わるデジタル方式の航空カメラで、複数の波長帯をデジタルデータで面的に観測できることから「デジタルマルチエリ阿森サ」と呼ばれる。

※4 カラーデジタルオルソデータ：航空写真は1度のシャッターで地表を平面的に撮影するため、中心から画像の外側に向かって地物が倒れて撮影される（中心投影）。これを、全ての地点で地形を真上から見下ろしたように変換した画像をオルソ（正射投影）データ（画像）という。カラーデジタルオルソデータは、デジタルカラー画像を正射投影したものである。ただし、正射変換されるのは地形（地面）であり、建物や樹木などは倒れ込んだままとなる。

※5 赤外カラーデジタルオルソデータ：赤外カラーデータは、近赤外、可視域赤、可視域緑で撮影した画像を、RGB の順に合成したもので、植生調査によく用いられる。赤外カラーデジタルオルソデータは、赤外カラーデータを正射変換したものである。

（5）定義

緑被率等を求めるために使用する面積の定義は以下の通りとする。

- ・図形面積：東京都縮尺 1/2,500 地形図データを基図とし、GIS（地理情報システム）上で作図した図形から算出した面積

3-2 調査結果

1) 区全体の現況

区全域の緑被状況を表 3-2、図 3-3 に示す。

区全域における緑被地は 251.35ha で緑被率は 16.14% であった。その内訳は、樹木は 225.92ha で 14.50%、草地は 22.63ha で 1.45%、屋上緑化は 2.81ha で 0.18% である。緑被地以外では、裸地が 36.03ha で 2.31%、水面が 4.75ha で 0.30%、構造物被覆地が 1,265.38ha で 81.24% であった。

表 3-2 区全域の緑被状況

項目	面積(ha)	割合(%)
緑被地	251.35	16.14
樹木	225.92	14.50
草地	22.63	1.45
屋上緑化	2.81	0.18
裸地	36.03	2.31
水面	4.75	0.30
構造物被覆地	1,265.38	81.24
区全体	1,557.51	100.00

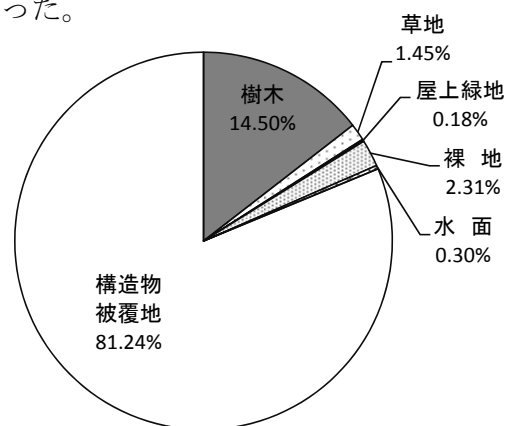


図 3-3 区全体の緑被等の割合

※区全体面積は、地形図を GIS（地理情報システム）に読み込み

図形データとして計測し求めた値（以下「図形データ」という。）

※平成 27 年度作成の東京都地形図データを用いているため

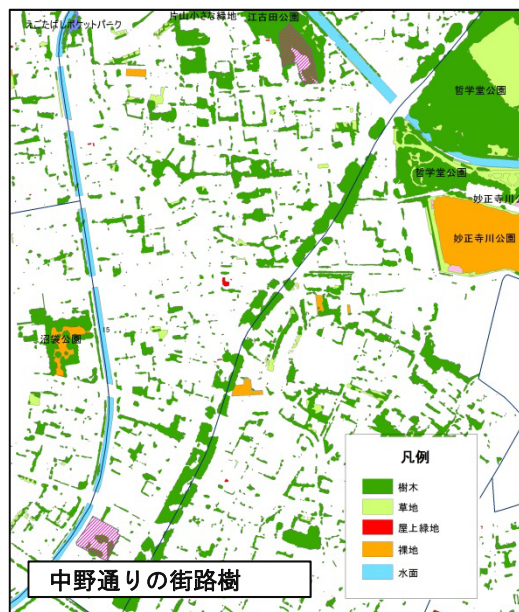
平成 18 年度作成の東京都地形図データを用いた平成 19 年度調査と

区全体面積が異なる。

※面積・割合は四捨五入により集計値と合わない場合がある。

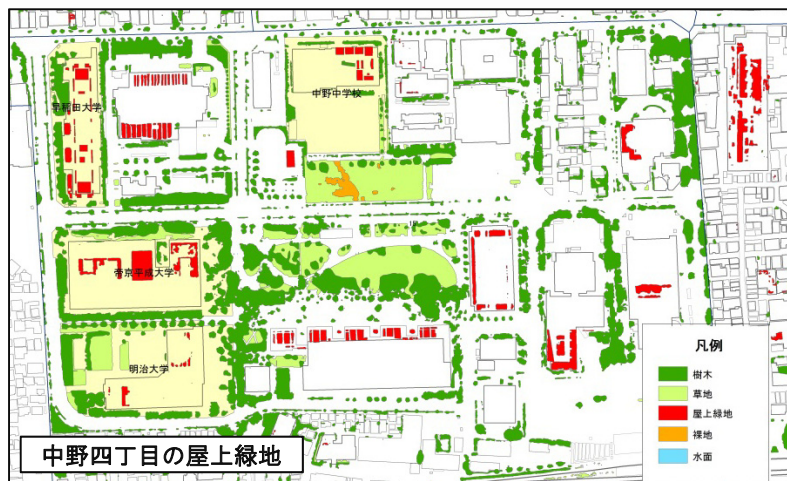
中野区の緑被地の分布状況を図 3-5 に示す。区内の主な緑被地は、JR 中央線を境に区の北東に存在する平和の森公園、江古田の森公園、哲学堂公園等の比較的規模の大きい公園や多くの社寺林である。また、区の北西に存在する社寺林、大規模な公共団地やまとまりのある屋敷林等を有する住宅地も区内の重要な緑被地である。このほか、中野通りの街路樹も区内の緑被地としてある程度まとまりのある緑地となっている。

JR 中央線の南側には、新たに 1ha 規模の公園が 2 箇所開園したが、その他は小規模な都市公園や街区公園が分布しており、まとまりのある緑被地としては、学校等の施設緑地となっている。



樹木地も区の北側と比較し少ないが、住宅地の庭木等の小規模な樹木の分布が見られる。区の中央に位置する JR 中野駅周辺では、駅北側に 1.5ha 規模の中野四季の森公園が開園したほか、複数の大学も建ち、大きな 1 団の緑地を形成している。

緑被項目では、樹木が区内全体に最も広く分布している。草地は、主に公園地内や芝生化された学校の校庭に多く見られる。また、一部、集合住宅や福祉施設における芝生地も確認された。屋上緑化は、主に学校や特別養護老人ホームハピネスホーム・ひなぎくの丘等の公共公益施設、中野セントラルパーク等の民間施設におけるものが確認された。平成 28 年度調査では、新たに JR 中央線の北側に規模の大きい屋上緑化が多数確認され、特に中野四丁目の地区計画事業に伴い整備された屋上緑化が多く見られた。



次に、他区との緑被率の比較を図 3-4 に示す。緑被率の調査年度・方法・精度等が異なることから単純比較は困難であるが、平成 28 年度調査の結果では中野区の緑被率は 16.1% で 23 区中 17 番目であった。本区よりも緑被率が上位の区では、面積規模の大きい都立公園や河川敷を有するため緑被率が高くなっている。

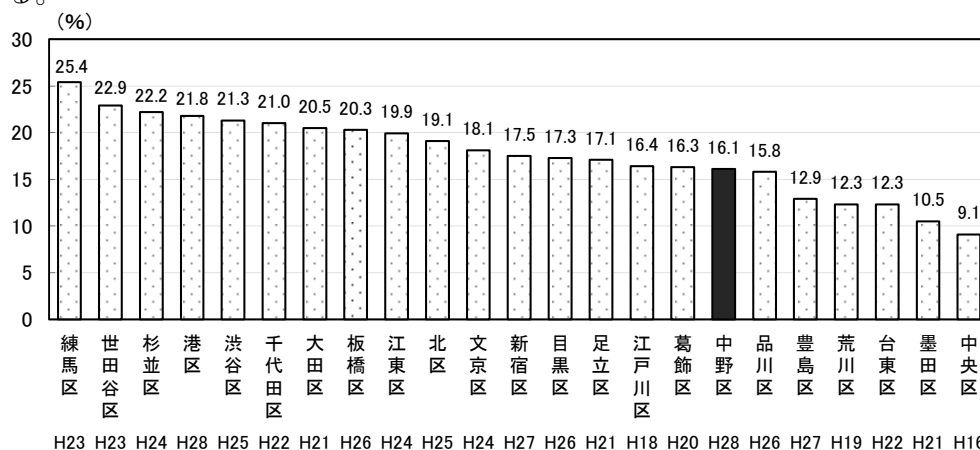
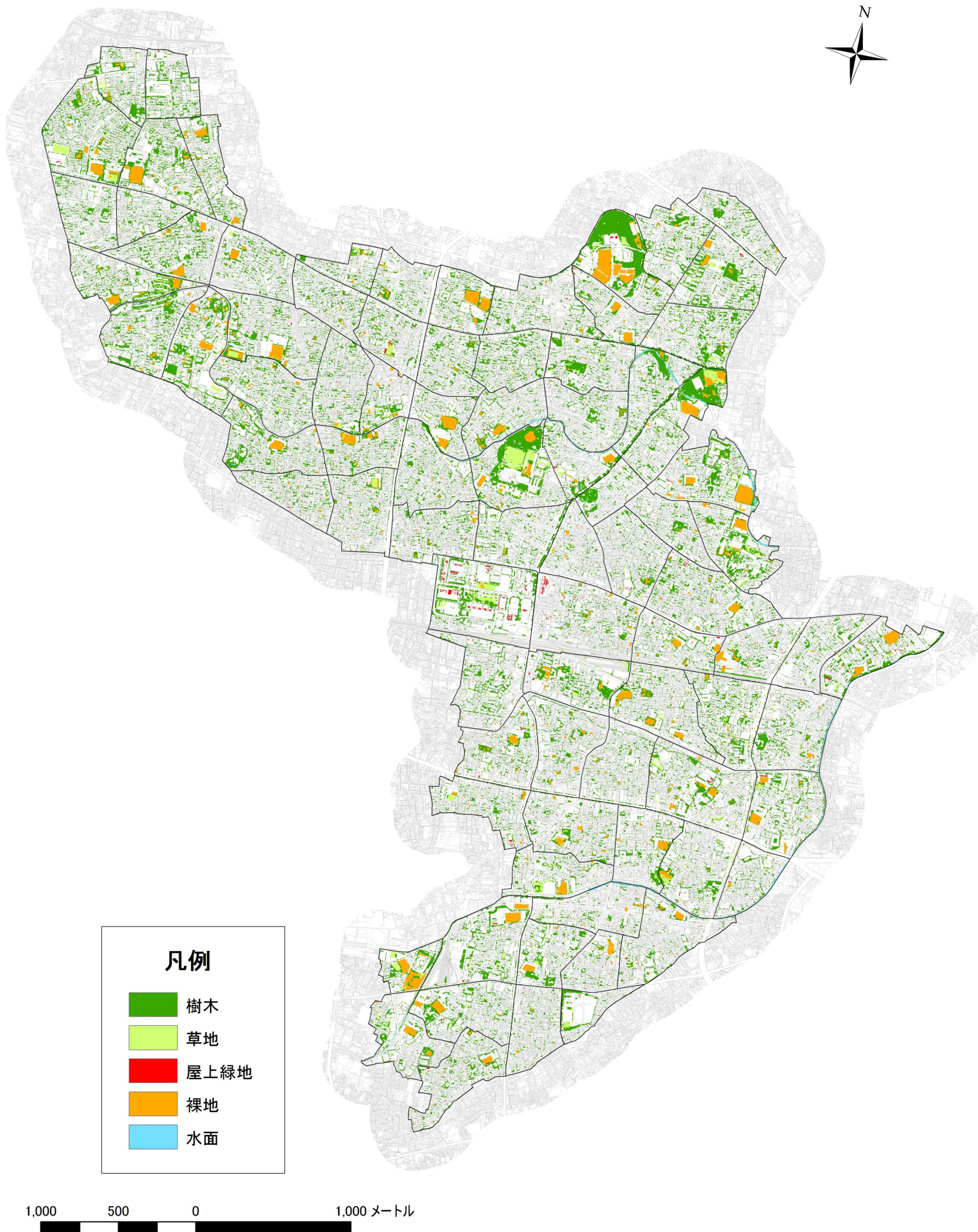


図 3-4 23 区の緑被率



この背景の地図は、東京都都市整備局と（株）ミッドマップ東京が著作権を有しています。（利用許諾番号）MMT 利許第 27009 号ー51

図 3-5 緑被分布図

2) 区民活動センター別・町別の状況

区民活動センター別・町別の緑被地等の状況を表 3-3、3-4、図 3-6～図 3-9 に示す。緑被率が最も高いのは、区民活動センター別では江古田地域 23.87% であった。次いで新井地域 21.07%、上鷺宮地域 19.91%、鷺宮地域が 17.65% であった。一方、緑被率が最も低いのは昭和地域の 11.44%、次いで弥生地域 11.47%、鍋横地域 12.41% であった。

町別で緑被率が最も高いのは、松が丘 26.08%、白鷺 23.42%、江古田 23.04% であった。一方、最も低いのは中央の 12.66% であった。次いで本町 12.74%、南台 13.09% であった。

区民活動センター別の樹木率の上位 3 地域は、江古田地域、上鷺宮地域、新井地域であり、緑被率と同様であった。町別の樹木率が最も高い町は、松が丘の 23.69% であり、次いで江古田 21.40%、白鷺 20.55%、上鷺宮 18.40% であった。江古田地域及び松が丘には江古田の森公園、哲学堂公園等の規模の大きな公園が存在するため樹木率が高くなっている。草地率は、区民活動センター別では新井地域が 3.59%、町別では新井が 3.49% と最も高かった。これは平和の森公園の広大な草地広場によるものである。屋上緑化率の上位は区民活動センター別では桃園地域 0.58%、昭和地域 0.40%、東中野地域 0.36% で、町別では中野 0.68%、東中野 0.24% であった。比較的緑被率の低い地域で屋上緑化率が高い傾向にあることが確認された。

表 3-3 区民活動センター別の緑被等の状況

上段:面積(㎡)
下段:割合(%)

区民活動 センター	地域面積	樹木	草地	屋上緑化	緑被地	裸地	水面
南中野	1,485,443	187,367	19,689	2,368	209,424	42,290	3,620
		12.61	1.33	0.16	14.10	2.85	0.24
弥生	763,288	76,981	8,727	1,878	87,586	11,298	8,887
		10.09	1.14	0.25	11.47	1.48	1.16
東部	1,381,722	174,481	15,659	2,626	192,766	27,524	6,536
		12.63	1.13	0.19	13.95	1.99	0.47
鍋横	723,343	76,942	11,507	1,323	89,772	11,889	976
		10.64	1.59	0.18	12.41	1.64	0.13
桃園	1,117,359	142,245	21,189	6,489	169,923	10,108	0
		12.73	1.90	0.58	15.21	0.90	0.00
昭和	771,977	79,316	5,875	3,098	88,290	13,655	0
		10.27	0.76	0.40	11.44	1.77	0.00
東中野	336,573	45,701	2,716	1,217	49,634	10,027	1,188
		13.58	0.81	0.36	14.75	2.98	0.35
上高田	854,059	131,913	11,556	920	144,389	30,145	5,391
		15.45	1.35	0.11	16.91	3.53	0.63
新井	724,964	125,104	25,999	1,632	152,735	12,996	3,809
		17.26	3.59	0.23	21.07	1.79	0.53
野方	1,283,341	163,309	13,433	1,927	178,669	32,088	3,325
		12.73	1.05	0.15	13.92	2.50	0.26
沼袋	890,257	127,725	6,936	781	135,442	7,083	3,110
		14.35	0.78	0.09	15.21	0.80	0.35
江古田	1,429,394	313,401	26,199	1,553	341,153	59,303	5,879
		21.93	1.83	0.11	23.87	4.15	0.41
大和	744,026	100,267	7,814	735	108,816	15,968	2,121
		13.48	1.05	0.10	14.63	2.15	0.29
鷺宮	2,052,315	331,551	30,067	712	362,330	45,745	2,625
		16.15	1.47	0.03	17.65	2.23	0.13
上鷺宮	1,017,009	182,852	18,886	795	202,533	30,189	0
		17.98	1.86	0.08	19.91	2.97	0.00
区全体	15,575,070	2,259,157	226,255	28,053	2,513,465	360,309	47,467
		14.50	1.45	0.18	16.14	2.31	0.30

※割合は少数第3位を四捨五入とする。

※面積・割合は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

表 3-4 町別の緑被等の状況

上段:面積(㎡)

下段:割合(%)

町名	町面積	緑被地				裸地	水面
		樹木	草地	屋上緑化	緑被地		
南台	827,725	97,824	9,132	1,432	108,388	13,055	1,322
		11.82	1.10	0.17	13.09	1.58	0.16
弥生町	1,010,878	118,883	13,639	2,079	134,601	33,029	7,561
		11.76	1.35	0.21	13.32	3.27	0.75
本町	1,076,347	117,722	17,329	2,052	137,103	17,744	6,315
		10.94	1.61	0.19	12.74	1.65	0.59
中央	1,153,593	132,941	10,932	2,176	146,049	21,408	2,335
		11.52	0.95	0.19	12.66	1.86	0.20
東中野	950,229	129,423	8,420	2,255	140,098	18,225	3,674
		13.62	0.89	0.24	14.74	1.92	0.39
中野	1,456,626	178,436	25,250	9,922	213,608	22,425	0
		12.25	1.73	0.68	14.66	1.54	0.00
上高田	1,005,384	149,069	12,368	1,217	162,654	31,049	5,391
		14.83	1.23	0.12	16.18	3.09	0.54
新井	797,140	132,932	27,799	1,149	161,880	15,717	5,003
		16.68	3.49	0.14	20.31	1.97	0.63
沼袋	672,514	99,926	5,587	541	106,054	6,497	3,110
		14.86	0.83	0.08	15.77	0.97	0.46
松が丘	366,537	86,846	8,640	119	95,604	15,612	5,878
		23.69	2.36	0.03	26.08	4.26	1.60
江原町	515,468	90,611	7,378	654	98,643	6,197	0
		17.58	1.43	0.13	19.14	1.20	0.00
江古田	765,132	163,743	11,530	1,021	176,294	38,081	0
		21.40	1.51	0.13	23.04	4.98	0.00
丸山	274,032	35,089	1,724	42	36,855	14,033	0
		12.80	0.63	0.02	13.45	5.12	0.00
野方	927,614	115,511	10,031	1,244	126,786	16,622	2,143
		12.45	1.08	0.13	13.67	1.79	0.23
大和町	699,276	95,799	6,862	501	103,162	15,479	2,301
		13.70	0.98	0.07	14.75	2.21	0.33
若宮	662,455	93,999	7,355	413	101,767	13,415	941
		14.19	1.11	0.06	15.36	2.03	0.14
白鷺	611,469	125,649	17,279	280	143,208	20,091	1,493
		20.55	2.83	0.05	23.42	3.29	0.24
鷺宮	885,031	125,940	6,637	215	132,791	11,717	0
		14.23	0.75	0.02	15.00	1.32	0.00
上鷺宮	917,618	168,813	18,363	743	187,919	29,912	0
		18.40	2.00	0.08	20.48	3.26	0.00
区全体	15,575,070	2,259,157	226,255	28,053	2,513,465	360,309	47,467
		14.50	1.45	0.18	16.14	2.31	0.30

※割合は少数第3位を四捨五入とする。

※面積・割合は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

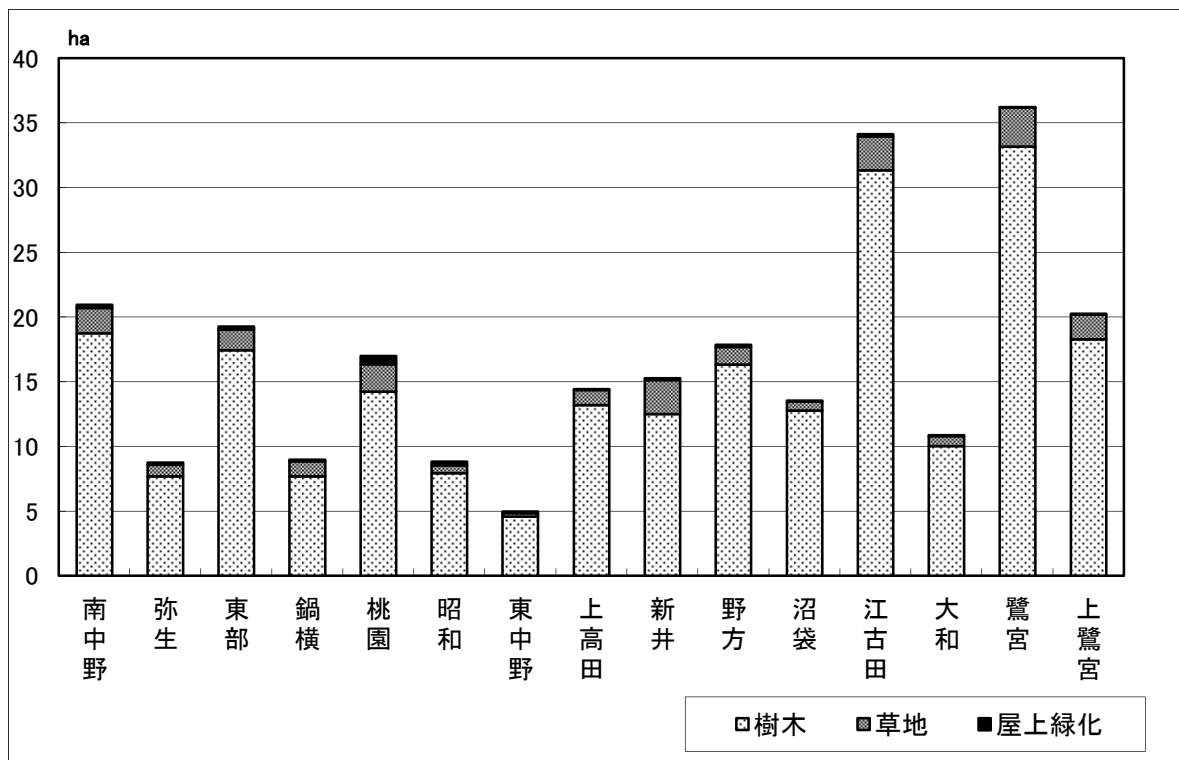


図 3-6 区民活動センター別の緑被地面積

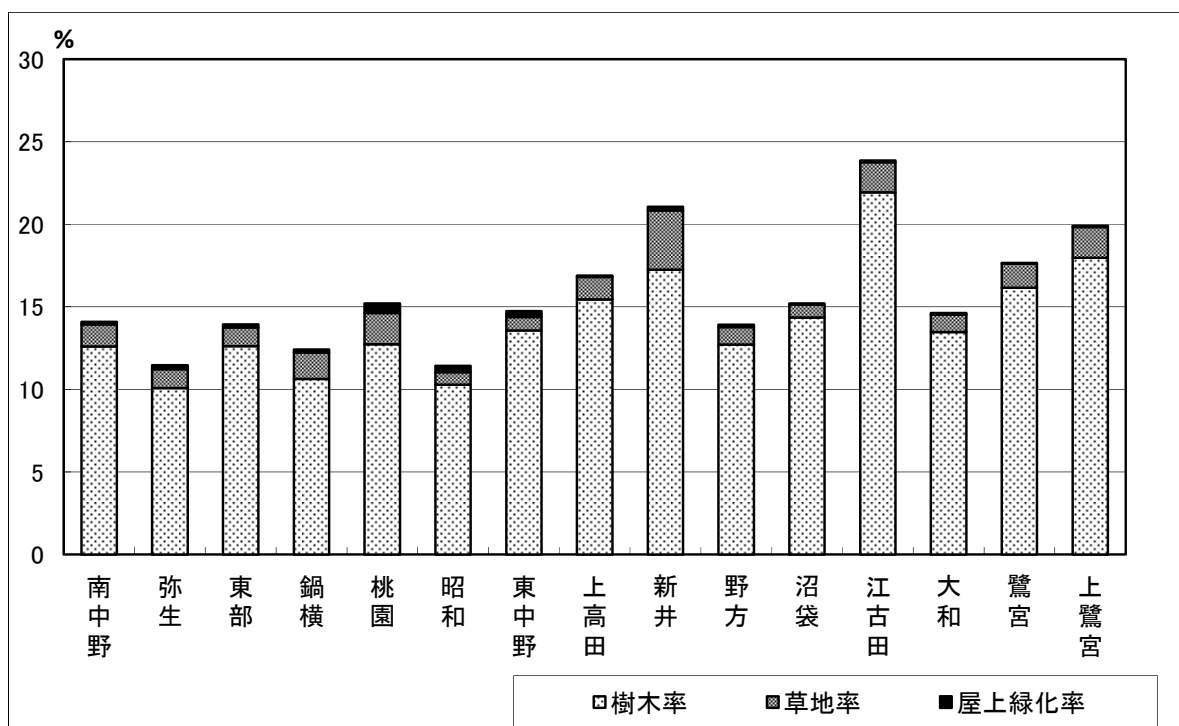


図 3-7 区民活動センター別の緑被率

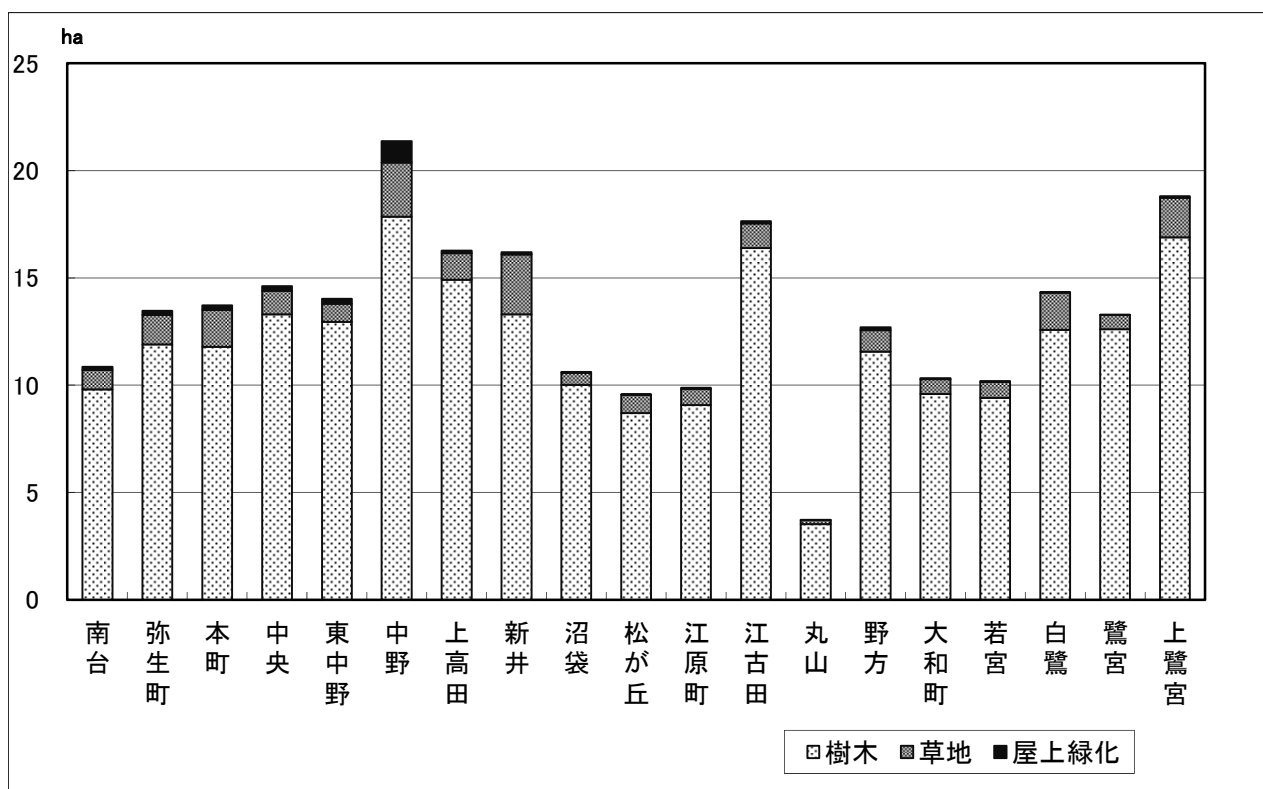


図 3-8 町別の緑被地面積

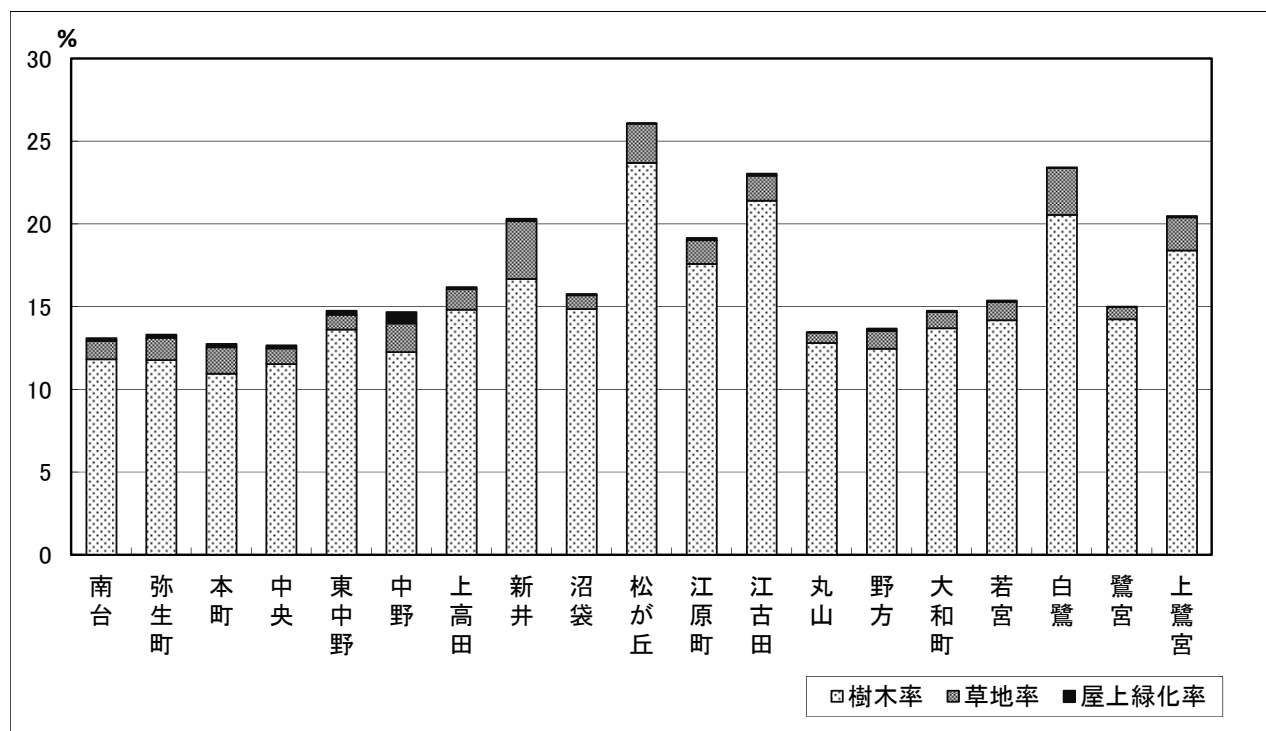


図 3-9 町別の緑被率

図 3-10、3-11 に区民活動センター別、町別の緑被率ランク図を示す。
JR 中央線北側の緑被率が地域センター別及び町別を見ても高いことが分かる。

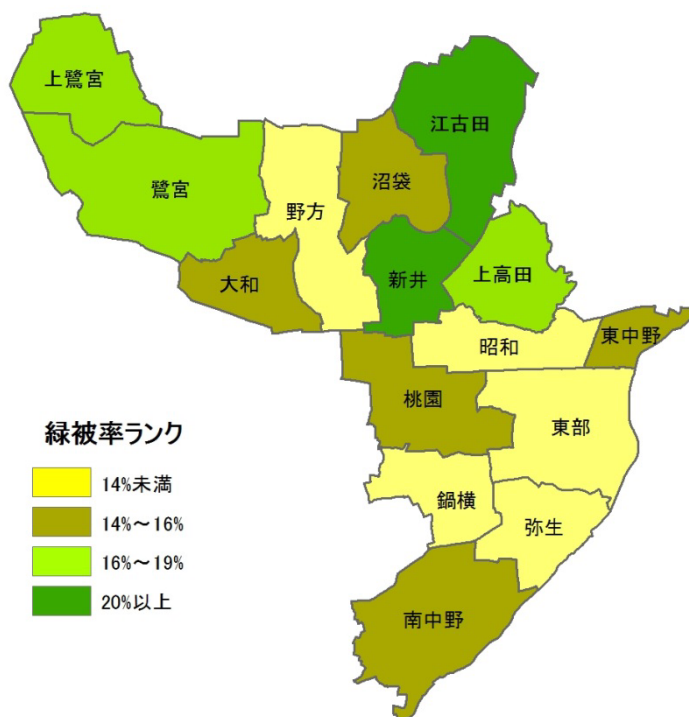


図 3-10 区民活動センター別緑被率ランク図

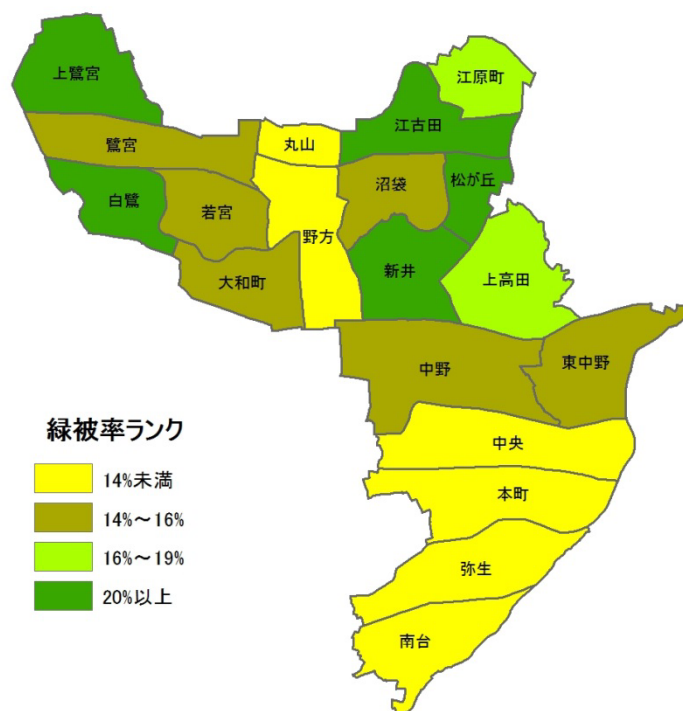


図 3-11 町別緑被率ランク図

町別の土地利用別面積の構成比を図 3-12 に示す。

公園・運動場の割合が最も高いのは松が丘で、次いで、江古田と上高田となっている。哲学堂公園・妙正寺川公園（松が丘）、江古田の森公園（江古田）、上高田公園（上高田）等の比較的大きな公園が存在していることが、緑被率が高い要因となっている。また、区の南部である南台、弥生町、本町、中央、東中野、中野においては、商業用地の割合が、区の北部が 1 割に満たないのに対し、約 1 割強と比較的高い。商業用地は、緑化余地が限られているため、区南部の緑被率が低い要因の一つと考えられる。

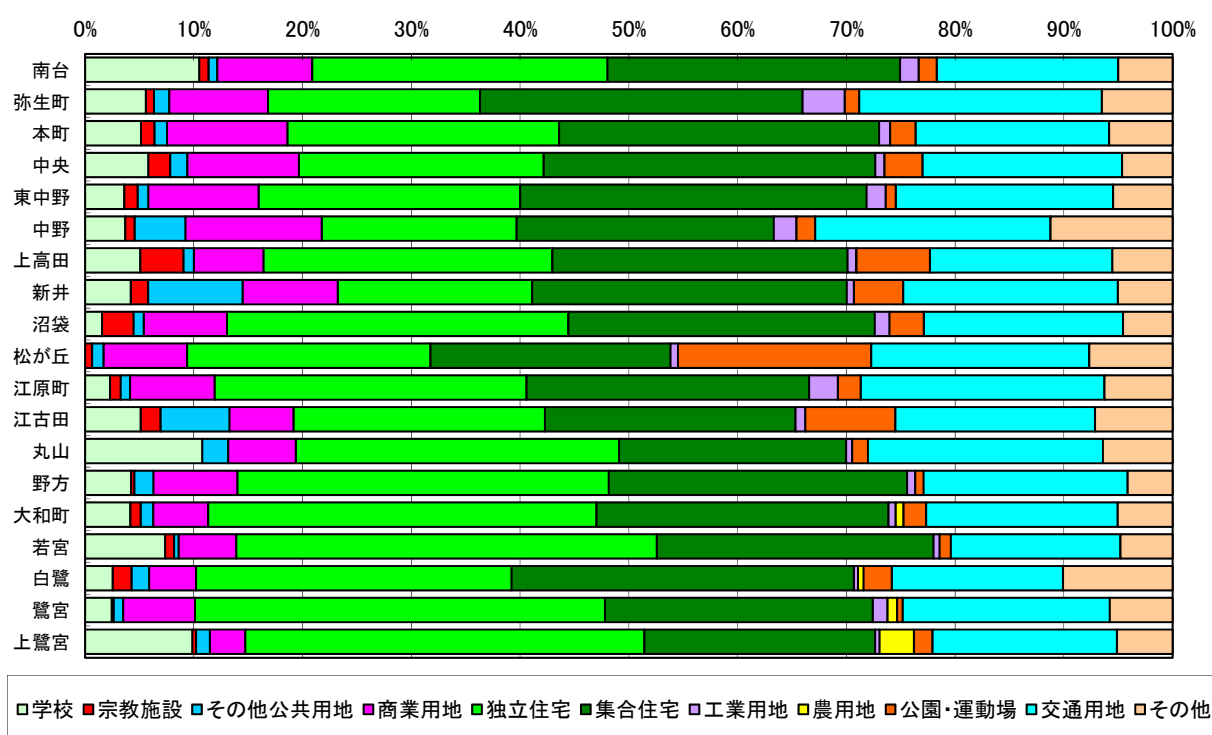


図 3-12 町別の土地利用面積構成比

また図 3-13 に町別の規模別敷地割合を示す。なお、敷地規模の集計には平成 23 年度東京都土地利用現況データを用いている。

1,000 m²以上の敷地割合が高い上鷺宮、白鷺は緑被率が高い。上鷺宮では、都立稔ヶ丘高等学校及び北中野中学校の校庭の芝生化、白鷺では鷺宮西住宅(公社)の樹木や社寺林等の比較的大きな緑被地を有していることにより緑被率が高い。

一方、200 m²未満の敷地が全体の約 6 割を占める本町、中央、南台の緑被率が低いことから、緑化スペースが限られていること、また公園面積が比較的小さいことが緑被率の低い要因となっていることが考えられる。

大規模敷地割合の高い丸山の緑被率が低い要因としては、住宅地における分譲戸建ての建設が進んだことによる樹木や草地が減少したことによると考えられる。また平均敷地面積が高い理由としては、敷地面積が大きい学校用地の割合が他町と比較し高いことも要因であると考えられる。

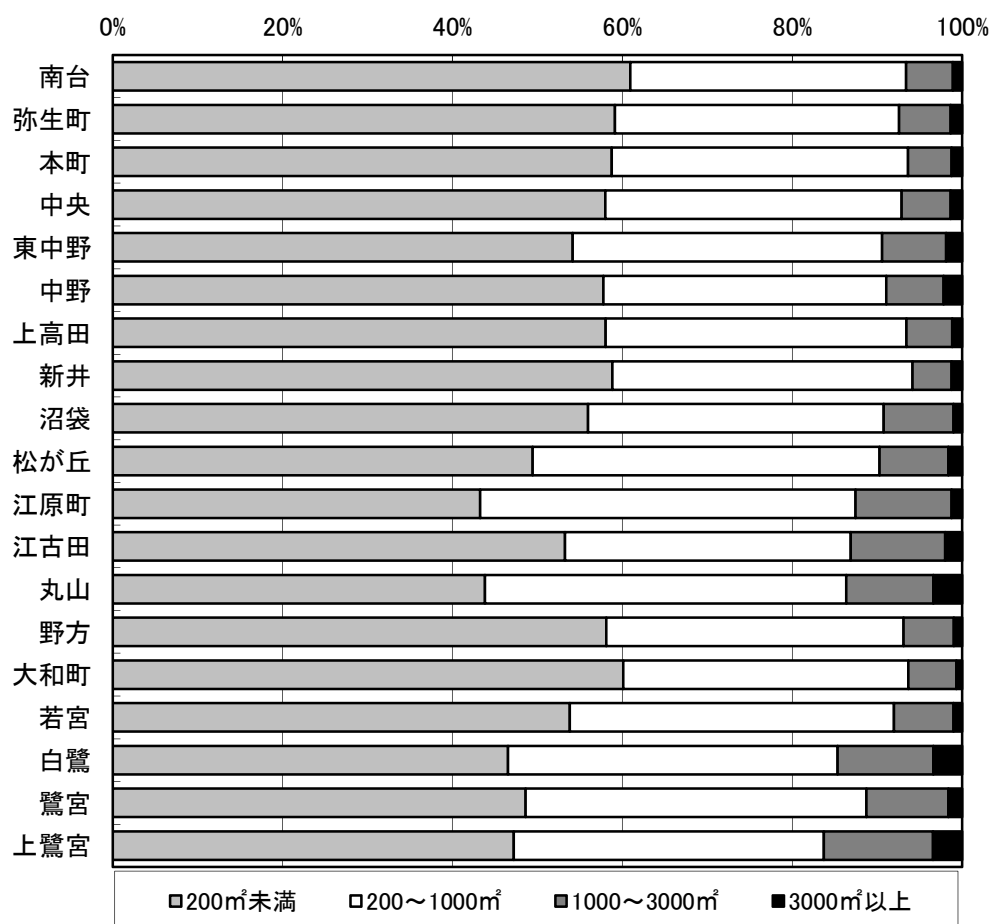
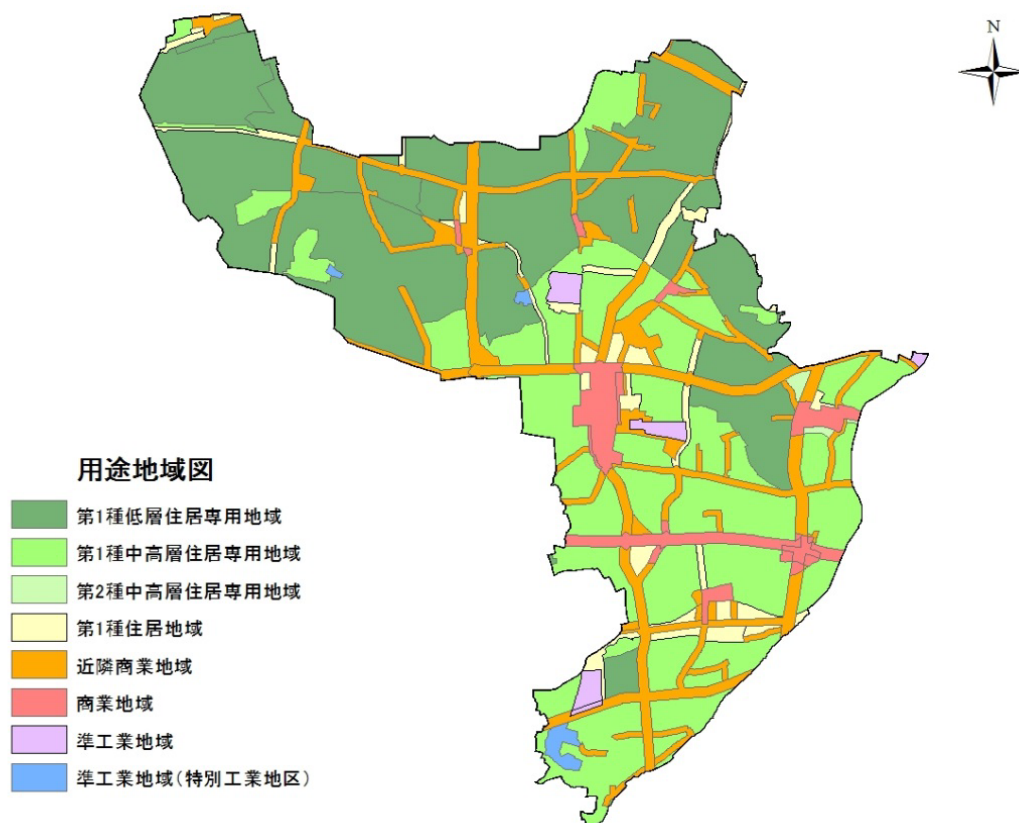


図 3-13 町別の規模別敷地割合

3) 用途地域別の現況

図3-14に区内の用途地域・地区、表3-5に用途地域別の緑被等の状況を示す。

区全体の約78%は住居系の用途地域に指定されている。次いで商業系の用途が約20%、工業系が約2%となっている。(東京都都市計画地理情報システムデータより(平成26年8月21日作成))



東京都都市計画地理情報システムデータより(平成26年8月21日作成)

図3-14 用途地域図

用途地域別の緑被地等の状況(表3-5、図3-17)をみると、緑被率が最も高いのは工業系地域の21.00%であった。緑被率の高い主な要因としては、平和の森公園の草地広場部分が準工業地域にあるためである。そのため草地率は8.06%と高くなっている。次いで住居系地域の緑被率が17.90%、商業系地域が8.85%であった。

用途地域別の緑被率が最も高いのは、第1種低層住居専用地域の18.84%であった。第1種低層住居専用地域は、区全体の緑被地面積の約48%を占めており、北側に分布している。第1種低層住居専用地域のうち、建ぺい率が40%の地域の緑被率は22.63%と最も高い。建ぺい率40%の地域は敷地面積の最低限度も区内で最も大きい85㎡に指定されており、緑化余地が比較的あるため緑被

率が高いと思われる。

住居系地域で第1種低層住居専用地域の次に緑被率が高いのは第1種中高層住居専用地域の17.20%であった。第1種中高層住居専用地域は、区の中央部から南部にかけて指定されている。町別でみると緑被率の低い南台、本町、中央等を含む用途地域であるが、江古田の森公園と平和の森公園の北側半分、中野四季の森公園や大学等を含む地区計画区域等の規模の大きい緑被地が含まれているため、緑被率が高くなっていると考えられる。

商業系用途地域の緑被率は8.85%と住居系と比較すると非常に低いが、商業地域の屋上緑化の割合は他用途地域と比較し、0.64%と高い。また近隣商業地域における緑被率も商業地域と同様に低い。商業系地域は建ぺい率が80%であり緑化余地が少ないことから、緑被率が低い要因となっていると考えられる。建ぺい率の数値が高い用途地域の緑被率は下がる傾向にあることから、建ぺい率が低い用途地域ほど緑化余地が多くなる傾向にあり緑被率が高くなると考えられる。

表 3-5 用途地域別の緑被等の状況

上段:面積 (㎡)
下段:割合 (%)

用途地域		建ぺい率	用途面積	緑被地			緑被地	裸地	水面	構造物被覆地
				樹木	草地	屋上緑地				
住居系	第1種低層住居専用地域	40	599,431	121,832	13,304	504	135,640	26,140	0	437,651
			3.85	20.32	2.22	0.08	22.63	4.36	0.00	73.01
	第1種低層住居専用地域	50	1,159,426	188,280	13,647	270	202,198	18,780	0	938,448
			7.44	16.24	1.18	0.02	17.44	1.62	0.00	80.94
	第1種低層住居専用地域	60	4,585,598	790,341	63,162	3,731	857,234	125,023	0	3,603,341
			29.44	17.24	1.38	0.08	18.69	2.73	0.00	78.58
	第1種低層住居専用地域 計		6,344,455	1,100,453	90,113	4,506	1,195,071	169,943	0	4,979,441
			40.73	17.35	1.42	0.07	18.84	2.68	0.00	78.48
	第1種中高層住居専用地域	60	5,123,346	778,167	90,375	12,864	881,405	151,501	0	4,090,439
			32.89	15.19	1.76	0.25	17.20	2.96	0.00	79.84
	第2種中高層住居専用地域	60	39,679	5,386	359	120	5,865	246	0	33,568
			0.25	13.57	0.91	0.30	14.78	0.62	0.00	84.60
	第1種住居地域	60	665,366	88,982	6,846	947	96,775	13,594	0	554,997
			4.27	13.37	1.03	0.14	14.54	2.04	0.00	83.41
			12,172,846	1,972,988	187,693	18,436	2,179,117	335,284	0	9,658,444
78.16			16.21	1.54	0.15	17.90	2.75	0.00	79.34	
商業系	近隣商業地域	80	2,452,196	205,492	11,541	4,871	221,904	20,397	0	2,209,895
			15.74	8.38	0.47	0.20	9.05	0.83	0.00	90.12
	商業地域		676,869	45,732	4,992	4,343	55,067	2,116	0	619,686
			4.35	6.76	0.74	0.64	8.14	0.31	0.00	91.55
			3,129,066	251,225	16,532	9,214	276,971	22,513	0	2,829,582
		20.09	8.03	0.53	0.29	8.85	0.72	0.00	90.43	
工業系	準工業地域	60	187,044	27,674	20,446	161	48,281	2,511	0	136,251
			1.20	14.80	10.93	0.09	25.81	1.34	0.00	72.84
	準工業地域(特別工業地区)	60	86,115	7,270	1,584	243	9,096	1	0	77,018
			0.55	8.44	1.84	0.28	10.56	0.00	0.00	89.44
	準工業地域		273,159	34,944	22,029	403	57,377	2,512	0	213,270
			1.75	12.79	8.06	0.15	21.00	0.92	0.00	78.08
			273,159	34,944	22,029	403	57,377	2,512	0	213,270
		1.75	12.79	8.06	0.15	21.00	0.92	0.00	78.08	
区全体		15,575,070	2,259,157	226,255	28,053	2,513,465	360,309	0	12,701,296	
		100.00	14.50	1.45	0.18	16.14	2.31	0.00	81.55	

※用途面積は地形図上の図形データによる。

※面積・割合は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

次に、用途地域別の面積割合、緑被地面積割合を図 3-15～図 3-16、用途地域別の緑被率を図 3-17 に示す。住居系用途は用途面積全体の約 8 割、緑被地面積は約 9 割であり、本区の緑被地のほとんどが住居系用途にあることが分かる。そのため、緑被率の維持向上には住居系用途の緑化が課題となる。近隣商業地域については、用途面積の割合の 15.7%と比較し、緑被地面積割合が約半分の 8.8%と低い。同様に商業系地域においても用途面積 4.3%と比較し緑被地面積割合がその約半分の 2.2%であった。

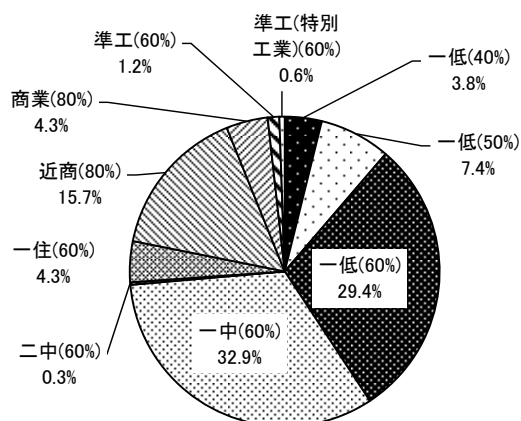


図 3-15 用途地域別の面積割合
() 内は建ぺい率

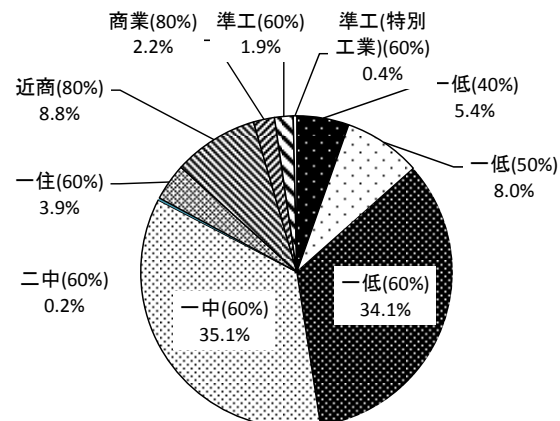


図 3-16 用途地域別緑被
() 内は建ぺい率

参考 用途地域名称の略称

略称	用途地域名称
一低	第1種低層住居専用地域
一中	第1種中高層住居専用地域
二中	第2種中高層住居専用地域
一住	第1種住居地域
近商	近隣商業地域
商業	商業地域
準工	準工業地域

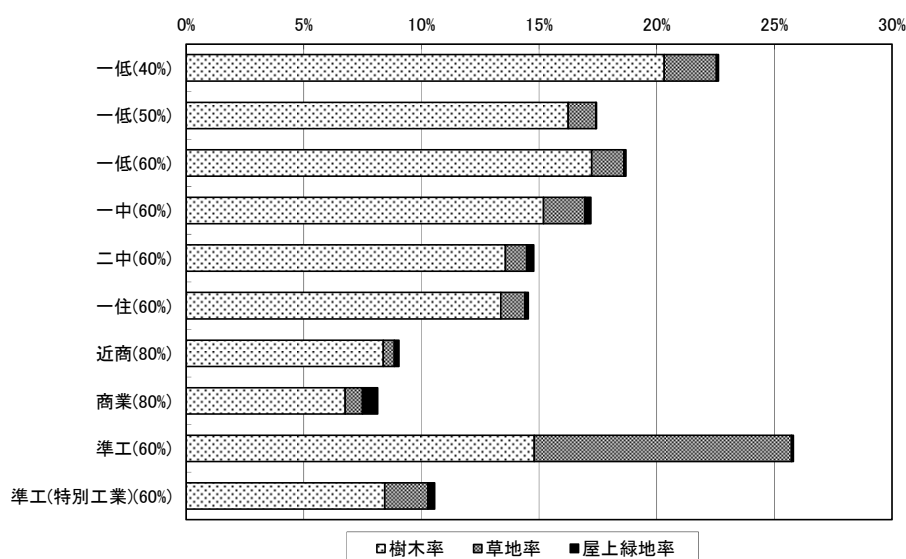


図 3-17 用途地域別の緑被率

4) 土地利用別の現況

平成 23 年度東京都土地利用現況データを用いた土地利用別の緑被地等の状況を次頁の表 3-6 に示す。また、図 3-18 及び図 3-19 に土地利用別の面積割合、緑被地面積割合を示す。

土地利用別の面積割合は、住宅用地が区全体の約半数の 54.0%を占めている。次いで道路が 17.6%、公共用地が 8.4%である。

土地利用別の緑被地面積の割合は、住宅用地が緑被地面積の約半分の 50.4%を占め、次いで道路が 12.9%、公共用地が 12.9%である。

緑被等の状況（表 3-6）では、住宅用地の緑被率は 15.05%と区の平均緑被率よりも低い、緑被地面積としては非常に大きいことから、区の緑の核となっている。

一方、道路の緑被率は、11.81%と低い、緑被地面積構成では 12.9%と住宅用地に次いで高い。緑被地の主な構成要素は、街路樹や植樹帯等の緑によるもので、線的な分布になっている。

公共用地の区全体面積に占める割合は 8.4%と低い、緑被率は、24.85%と高い。教育施設は緑被率が 21.64%、宗教施設は 38.74%であり、全体緑被地に占める割合も 12.9%であることから区内の重要な緑の構成要素であることが分かる。

公園・運動場（公園、運動場、遊園地、テニスコート等）の区全体面積に占める割合は約 3%と小さい、全体緑被地に占める割合は 10.4%で、緑被率が 56.92%と最も高く、区全体の約 6 割と大きな割合を占めている。

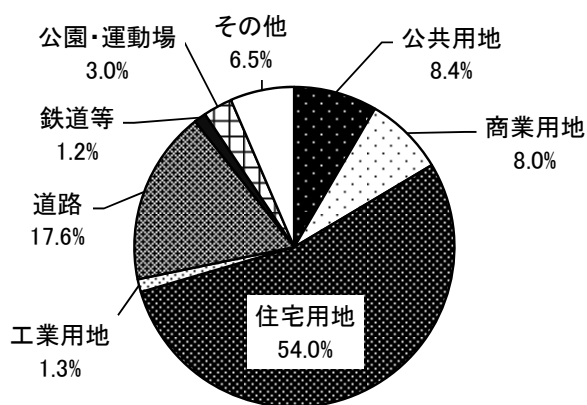


図 3-18 土地利用別の面積割合

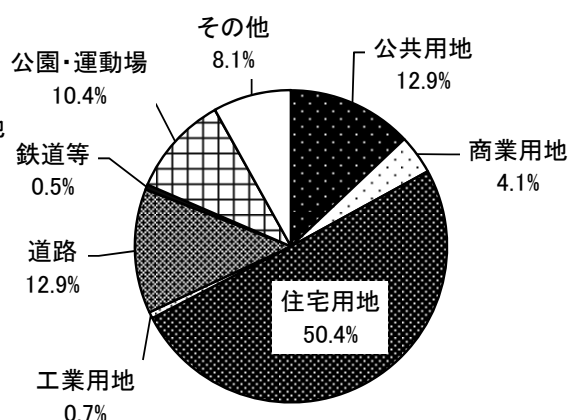


図 3-19 土地利用別の緑被地面積割合

表 3-6 土地利用別の緑被等の状況

上段:面積(m²)
下段:割合(%)

区分	主用途	細分類	土地利用 面積	緑被地			緑被地	裸地	水面	構造物 被覆地	
				樹木	草地	屋上緑化					
公共用地	官公庁施設		53,815	4,179	223	700	5,103	611	0	48,102	
			0.35	7.77	0.41	1.30	9.48	1.13	0.00	89.38	
	教育文化施設	教育施設	775,289	130,936	32,042	4,791	167,769	166,666	3	440,851	
			4.98	16.89	4.13	0.62	21.64	21.50	0.00	56.86	
		文化施設	20,530	2,803	65	116	2,984	1	0	17,545	
			0.13	13.65	0.32	0.57	14.54	0.00	0.00	85.46	
		宗教施設	199,450	74,772	2,431	71	77,274	2,419	20	119,737	
			1.28	37.49	1.22	0.04	38.74	1.21	0.01	60.03	
	厚生医療施設	医療施設	68,514	8,158	1,071	1,168	10,397	2,347	0	55,770	
			0.44	11.91	1.56	1.70	15.17	3.43	0.00	81.40	
		厚生施設	118,715	21,502	1,898	851	24,251	4,120	0	90,344	
	供給処理施設	供給施設	0.76	18.11	1.60	0.72	20.43	3.47	0.00	76.10	
			6,949	650	335	0	985	1,236	0	4,727	
		処理施設	0.04	9.36	4.83	0.00	14.18	17.79	0.00	68.03	
			64,869	18,171	17,999	188	36,358	2,391	0	26,120	
	計		0.42	28.01	27.75	0.29	56.05	3.69	0.00	40.27	
			1,308,131	261,171	56,064	7,886	325,121	179,790	23	803,196	
8.40			19.97	4.29	0.60	24.85	13.74	0.00	61.40		
商業用地	事務所建築物		278,671	15,040	2,039	1,817	18,897	1,815	0	257,960	
			1.79	5.40	0.73	0.65	6.78	0.65	0.00	92.57	
	専用商業施設	商業施設	117,605	4,567	560	236	5,363	559	0	111,683	
			0.76	3.88	0.48	0.20	4.56	0.48	0.00	94.96	
		公衆浴場等	11,846	640	25	13	678	0	0	11,168	
	住商併用建物		0.08	5.41	0.21	0.11	5.73	0.00	0.00	94.27	
			793,135	65,666	2,825	2,911	71,401	3,974	16	717,743	
		宿泊・遊興施設	宿泊施設	5.09	8.28	0.36	0.37	9.00	0.50	0.00	90.49
				12,981	1,061	0	652	1,712	247	0	11,022
			遊興施設	0.08	8.17	0.00	5.02	13.19	1.90	0.00	84.91
				20,086	613	174	64	851	45	0	19,190
	スポーツ興行施設	スポーツ施設	0.13	3.05	0.87	0.32	4.24	0.23	0.00	95.54	
			16,583	1,375	381	5	1,760	1,758	0	13,066	
		興行施設	0.11	8.29	2.30	0.03	10.61	10.60	0.00	78.79	
			2,701	1,630	1	0	1,632	6	0	1,064	
	計		0.02	60.37	0.05	0.00	60.42	0.20	0.00	39.38	
			1,253,609	90,592	6,006	5,698	102,295	8,403	16	1,142,895	
8.05			7.23	0.48	0.45	8.16	0.67	0.00	91.17		
住宅用地	独立住宅		4,218,513	716,265	36,570	2,395	755,231	14,915	14	3,448,353	
			27.09	16.98	0.87	0.06	17.90	0.35	0.00	81.74	
	集合住宅		4,194,740	447,005	57,287	7,061	511,353	52,467	35	3,630,885	
			26.93	10.66	1.37	0.17	12.19	1.25	0.00	86.56	
	計		8,413,253	1,163,270	93,856	9,456	1,266,583	67,383	49	7,079,238	
工業用地	専用工業	専用工業・作業場	54.02	13.83	1.12	0.11	15.05	0.80	0.00	84.14	
			25,113	1,260	133	8	1,401	7	0	23,705	
	住居併用工場		0.16	5.02	0.53	0.03	5.58	0.03	0.00	94.39	
			59,975	4,060	194	106	4,360	502	0	55,112	
	倉庫・運輸関係施設	運輸施設等	0.39	6.77	0.32	0.18	7.27	0.84	0.00	91.89	
			74,336	4,658	682	8	5,349	698	0	68,289	
		倉庫施設等	0.48	6.27	0.92	0.01	7.20	0.94	0.00	91.87	
			42,257	4,395	584	358	5,337	73	106	36,741	
	計		0.27	10.40	1.38	0.85	12.63	0.17	0.25	86.95	
			201,681	14,374	1,594	480	16,447	1,280	106	183,847	
1.29			7.13	0.79	0.24	8.16	0.63	0.05	91.16		
農業用地	農林漁業施設		1,323	384	17	0	402	11	0	910	
			0.01	29.04	1.32	0.00	30.36	0.82	0.00	68.82	
その他	屋外利用地・仮設建物		527,295	58,307	6,753	399	65,460	15,584	22	446,229	
			3.39	11.06	1.28	0.08	12.41	2.96	0.00	84.63	
	公園・運動場等		460,757	243,100	19,133	44	262,277	66,536	285	131,658	
			2.96	52.76	4.15	0.01	56.92	14.44	0.06	28.57	
	未建築宅地・未利用地		316,280	70,401	27,236	3,985	101,623	8,222	55	206,380	
			2.03	22.26	8.61	1.26	32.13	2.60	0.02	65.25	
	道路		2,742,480	315,331	8,457	103	323,891	9,848	951	2,407,790	
			17.61	11.50	0.31	0.00	11.81	0.36	0.03	87.80	
	鉄道・港湾等		187,857	8,845	4,575	1	13,421	13	59	174,365	
			1.21	4.71	2.44	0.00	7.14	0.01	0.03	92.82	
	計		4,234,669	695,984	66,155	4,533	766,672	100,203	1,371	3,366,423	
			27.19	16.44	1.56	0.11	18.10	2.37	0.03	79.50	
			44,022	12,521	1,851	0	14,372	1,749	0	27,901	
農用地	畑		0.28	28.44	4.20	0.00	32.65	3.97	0.00	63.38	
			116,888	20,151	711	0	20,862	1,491	45,903	48,633	
	水面・河川・水路		0.75	17.24	0.61	0.00	17.85	1.28	39.27	41.61	
			444	444	0	0	444	0	0	1	
	森林		0.00	99.87	0.00	0.00	99.87	0.00	0.00	0.13	
			117,333	20,595	711	0	21,306	1,491	45,903	48,633	
	計		0.75	17.55	0.61	0.00	18.16	1.27	39.12	41.45	
			1,050	265	1	0	266	0	0	784	
	その他			0.01	25.21	0.11	0.00	25.32	0.00	0.00	74.68
				15,575,070	2,259,157	226,255	28,053	2,513,465	360,309	47,467	12,653,829
区全体			100.00	14.50	1.45	0.18	16.14	2.31	0.30	81.24	

※面積・割合は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

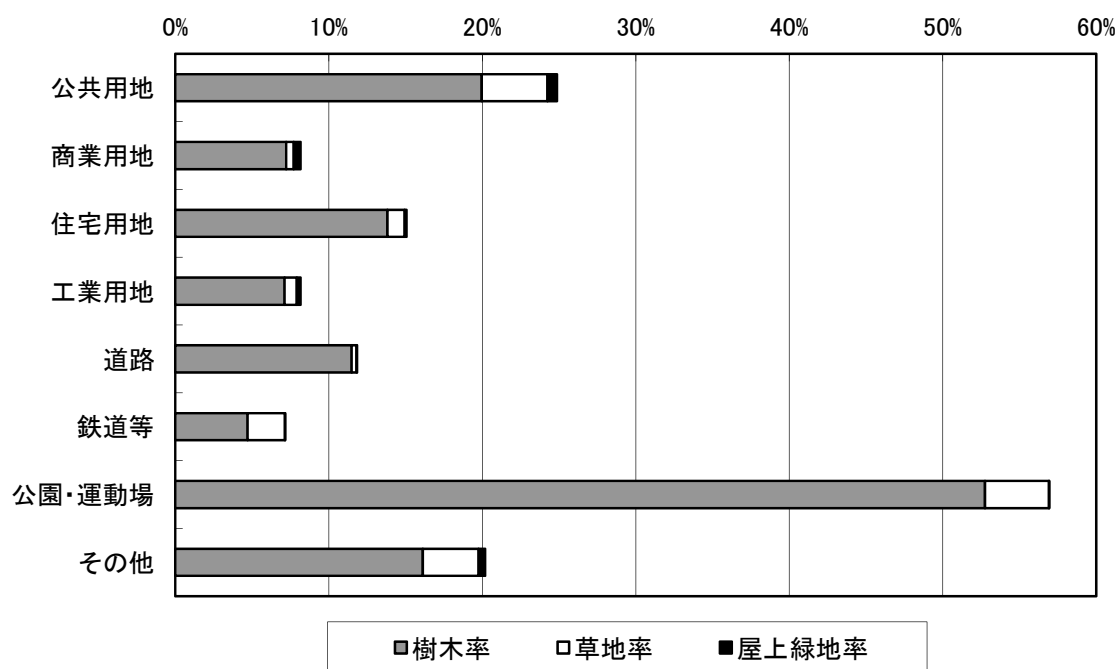


図 3-20 土地利用別の緑被率割合

次に独立住宅及び集合住宅の敷地規模別敷地面積と緑被地面積の割合を図 3-21、3-22 に示す。なお、平成 23 年度東京都土地利用現況データは、同種の土地利用が隣接する部分の一つの敷地としているため、実際には複数の敷地を一つとしており、敷地規模の集計値については参考とする。

敷地割合を比較すると敷地面積が 1,000 m²～3,000 m²の割合は、敷地面積が 200～1,000 m²の割合より低い、緑被地割合では 1,000 m²～3,000 m²の緑被地割合が最も高い。

図 3-23 に敷地規模別の区全体の緑被地面積に占める独立住宅と集合住宅内にある緑被地面積の状況を示す。敷地面積が 200～1,000 m²及び 1,000～3,000 m²の独立住宅の緑被地の占める割合が最も高い。これらは戸建て住宅の庭木によるもので個々の緑は小規模である。区全体緑被地に占める割合をみると、200 m²～3,000 m²の敷地規模の独立住宅の緑被地面積は約 25%と大きな割合を占める。

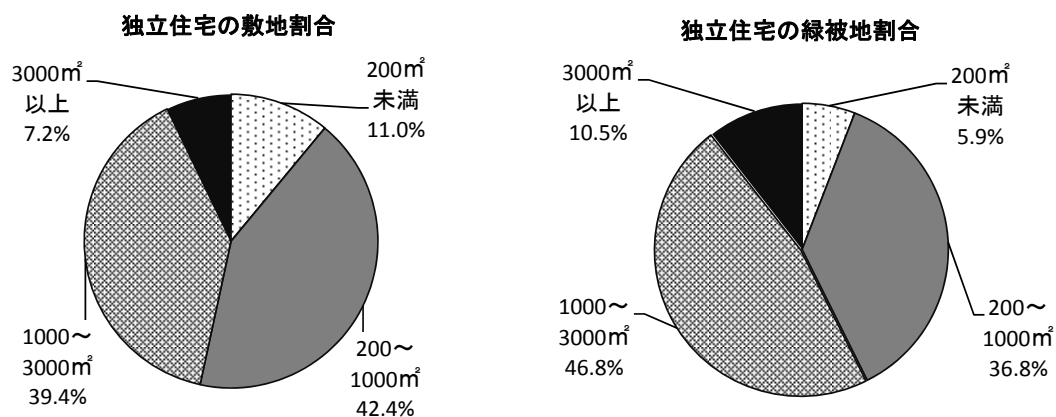


図 3-21 独立住宅の敷地規模別敷地面積と緑被地面積の割合

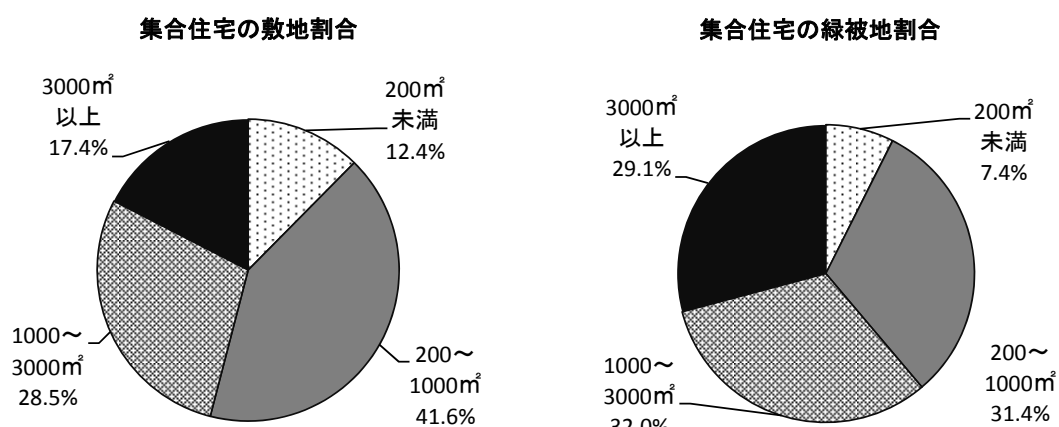


図 3-22 集合住宅の敷地規模別敷地面積と緑被地面積の割合

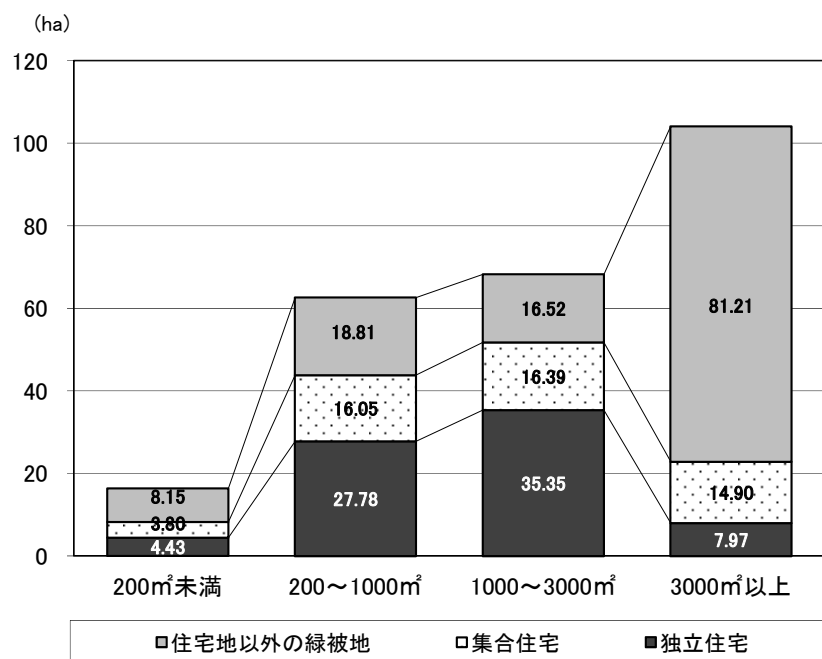


図 3-23 区全体緑被地面積に占める独立住宅と集合住宅の緑被地の状況

表 3-7 敷地規模別土地利用別の緑被地等の状況

		上段: 敷地面積 (㎡)				下段: 緑被面積 (㎡)				緑被率 (%)	
区分	主用途	細分類	200㎡未満	200～1000㎡	1000～3000㎡	3000㎡以上	合計	200㎡未満	200～1000㎡	1000～3000㎡	3000㎡以上
公共用地	官公庁施設		3,853	7,051	21,846	21,065	53,815	8.32%	7.85%	9.27%	10.46%
	教育文化施設	教育施設	321	554	2,025	2,204	5,103	7.80%	13.96%	18.95%	22.19%
			4,926	25,491	44,437	700,434	775,289				
		文化施設	384	3,558	8,422	155,405	167,769	-	12.50%	26.32%	7.53%
			0	5,134	6,298	9,098	20,530				
		宗教施設	0	642	1,657	685	2,984	16.42%	24.47%	35.43%	48.43%
	厚生医療施設	医療施設	9,235	37,897	56,015	96,302	199,450				
			1,516	9,272	19,849	46,636	77,274				
		厚生施設	4,633	17,823	13,262	32,797	68,514	5.20%	11.90%	6.88%	21.71%
	供給処理施設	供給施設	241	2,121	913	7,122	10,397	10.72%	16.73%	26.54%	17.22%
			2,874	43,563	45,198	27,081	118,715				
		処理施設	308	7,288	11,993	4,662	24,251	-	2.48%	4.38%	59.44%
			481	3,511	2,956	0	6,949				
	計		49	368	569	0	985	10.84%	16.80%	23.65%	26.69%
			0	1,436	2,509	60,924	64,869				
商業用地	事務所建築物		0	36	110	36,213	36,358	10.15%	10.47%	19.25%	-
			26,002	141,905	192,522	947,702	1,308,131				
		計	2,819	23,838	45,537	252,927	325,121				
	専用商業施設	商業施設	46,278	130,423	72,810	29,160	278,671	3.53%	4.91%	10.10%	12.03%
			1,632	6,406	7,351	3,508	18,897				
		公衆浴場等	16,368	53,350	27,094	20,793	117,605	2.98%	4.62%	5.00%	5.08%
			487	2,465	1,354	1,057	5,363				
	住商併用建物		196	11,651	0	0	11,846	0.08%	5.82%	-	-
			0	678	0	0	678				
		宿泊・遊興施設	350,761	400,824	26,386	15,163	793,135	6.24%	10.13%	17.76%	27.77%
			21,896	40,610	4,685	4,210	71,401				
	スポーツ興行施設	宿泊施設	778	2,213	1,984	8,006	12,981	4.53%	3.03%	53.60%	-
			35	67	1,063	547	1,712				
		遊興施設	5,995	9,781	4,310	0	20,086	4.20%	4.28%	4.18%	-
			252	419	180	0	851				
	スポーツ興行施設	スポーツ施設	252	2,848	5,292	8,192	16,583	1.76%	7.15%	5.31%	15.52%
			4	204	281	1,271	1,760				
		興行施設	469	381	1,850	0	2,701	0.66%	4.04%	87.20%	-
			3	15	1,613	0	1,632				
	計		421,097	611,473	139,726	81,314	1,253,609	5.77%	8.32%	11.83%	13.03%
住宅用地	独立住宅		24,310	50,864	16,528	10,593	102,295	9.53%	15.54%	21.25%	26.30%
			464,665	1,787,378	1,663,531	302,939	4,218,513				
	集合住宅		44,304	277,768	353,492	79,667	755,231	7.29%	9.19%	13.69%	20.38%
			520,489	1,746,287	1,196,748	731,216	4,194,740				
	計		37,951	160,541	163,868	148,993	511,353	8.35%	12.40%	18.09%	22.11%
工業用地	専用工業	専用工業・作業場	985,154	3,533,665	2,860,279	1,034,155	8,413,253	8.35%	12.40%	18.09%	22.11%
			82,255	438,308	517,360	228,661	1,266,583				
	住居併用工場		3,984	11,538	9,591	0	25,113	7.97%	5.90%	4.20%	-
			317	680	403	0	1,401				
		運輸施設等	38,855	19,575	1,544	0	59,975	5.61%	9.70%	18.16%	-
			2,182	1,898	280	0	4,360				
	倉庫・運輸関係施設	倉庫施設等	3,709	10,803	24,923	34,901	74,336	7.74%	4.16%	6.05%	8.90%
			287	449	1,507	3,105	5,349				
		倉庫施設等	9,433	15,686	3,365	13,773	42,257	16.20%	13.01%	6.64%	11.22%
			1,528	2,040	223	1,546	5,337				
	計		55,981	57,603	39,423	48,674	201,681	7.71%	8.80%	6.12%	9.55%
農用地	農林漁業施設		4,314	5,068	2,415	4,650	16,447	7.71%	8.80%	6.12%	9.55%
			246	1,077	0	0	1,323				
	屋外利用地・仮設建物		82	319	0	0	402	33.50%	29.64%	-	-
			169,799	247,795	86,288	23,413	527,295				
		公園・運動場等	18,556	23,983	9,016	13,905	65,460	10.93%	9.68%	10.45%	59.39%
			5,254	77,265	109,600	268,637	460,757				
		未建築宅地・未利用地	2,817	45,203	62,166	152,091	262,277	53.62%	58.50%	56.72%	56.62%
			88,672	78,446	39,201	109,959	316,280				
		道路	24,566	22,203	10,243	44,611	101,623	27.70%	28.30%	26.13%	40.57%
			22,302	11,364	9,183	2,699,630	2,742,479				
		鉄道・港湾等	2,586	1,557	1,381	318,366	323,891	11.60%	13.70%	15.04%	11.79%
			1,611	6,948	40,470	138,829	187,857				
	計		94	912	2,435	9,980	13,421	5.81%	13.12%	6.02%	7.19%
			287,639	421,819	284,741	3,240,469	4,234,668				
農用地	畑		48,619	93,858	85,241	538,954	766,672	16.90%	22.25%	29.94%	16.63%
			1,475	13,226	13,573	15,748	44,022				
	水面・河川・水路		420	5,186	3,758	5,008	14,372	20.11%	11.71%	28.63%	-
			3,080	72,923	40,886	0	116,888				
		森林	619	8,536	11,707	0	20,862	-	99.87%	-	-
			0	444	0	0	444				
	計		0	444	0	0	444	20.11%	12.24%	28.63%	-
			3,080	73,367	40,886	0	117,333				
	その他		619	8,980	11,707	0	21,306	25.32%	-	-	-
			1,050	0	0	0	1,050				
区全体			266	0	0	0	266	9.19%	12.90%	19.11%	19.39%
			1,781,723	4,854,135	3,571,151	5,368,061	15,575,070				
			163,706	626,421	682,546	1,040,793	2,513,465				

※面積・割合は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

5) 公園緑地の現況

(1) 公園緑地の現況

公園緑地の面積の割合を図 3-24 に示す。区内で現在共用開始している公園は 190 箇所あり、管理面積は 442,124 m²である。このうち都市計画公園が 39 箇所、都市計画緑地が 1 箇所、都市公園が 121 箇所、条例等の公園が 29 箇所である。

中野区の平成 29 年 1 月 1 日現在の人口は 325,460 人、区民 1 人当たりの公園面積は約 1.36 m²/人（住民基本台帳人口）であり、東京都 23 区の 1 人当たりの公園面積の 4.36 m²/人（東京都都市公園等区市町村別面積・人口割比率表（平成 28 年 4 月 1 日現在））と比較すると、本区は低い値である。これは本区には都立公園等の大規模な都市公園がないとともに、人口密度が 20,876 人/k m²と 23 区中、豊島区、荒川区に次いで高いことによる。

なお、住民 1 人当たりの都市公園の敷地面積の標準は、区市町村の区域内では 10 m²/人、市街地では 5 m²/人と定めており（都市公園法施行令）、この標準値を満たすためには区内で公園面積が約 163ha も必要となる。

中野区の区全体面積に対する公園緑地の面積割合（公園地率）は 2.84% であった。

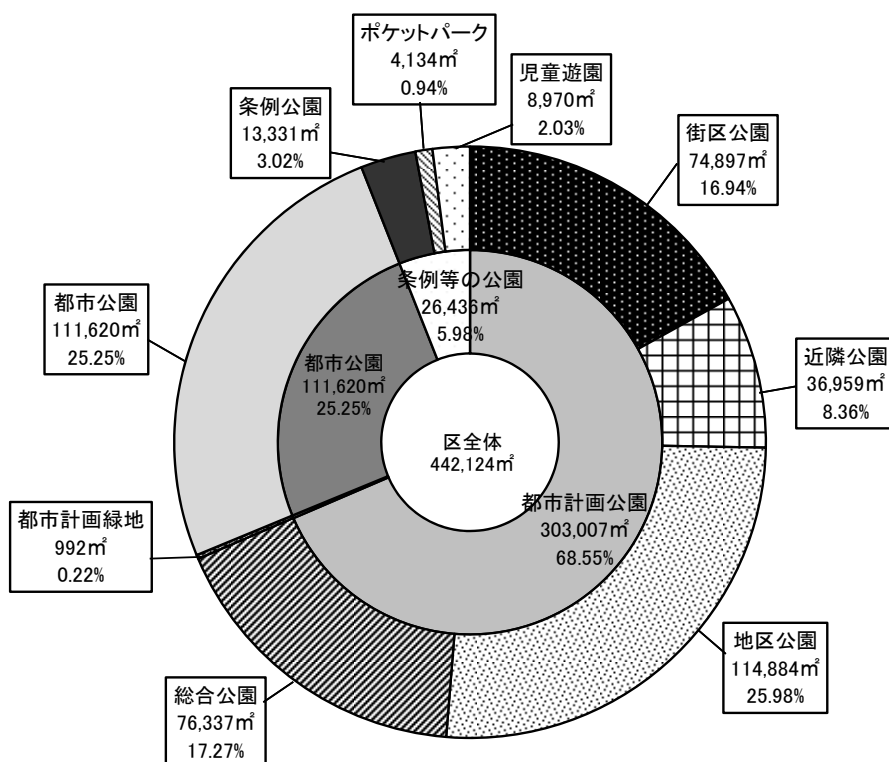


図 3-24 公園緑地の面積の割合

(2) 公園緑地の緑被状況

公園緑地の緑被の状況を表 3-8 に示す。公園全体の緑被率は 64.25% であった。そのうち、緑被率が最も高い公園は都市計画公園（都市計画に都市施設として定められた公園や緑地）の地区公園の 86.16% である。緑被の内訳をみると、地区公園の草地率が 15.31% で、他公園と比較し高いことが分かる。地区公園は面積規模が大きく、防災機能を有することから広大な芝生広場が整備されていることによる。

次いで、街区公園の緑被率が 66.94%、総合公園の緑被率が 57.37% である。総合公園は、都市計画公園「野方」で、哲学堂公園、江古田公園、中野上高田公園と区内の代表的な 3 公園を含み、緑被地のほとんどが樹木となっている。都市公園（都市計画に定められていないが、都市公園法に基づき区が設置した公園）の緑被率は 58.58% であった。都市公園は設置数が最も多いが、敷地面積が 500～2,000 m² の小規模なものが多く、都市計画公園と比較すると緑被率は低くなっている。

表 3-8 公園緑地の緑被の状況

区分		箇所数	管理面積 (㎡)	図形面積 (㎡)	樹木面積 (㎡)	草地面積 (㎡)	緑被面積 (㎡)	樹木率	草地率	緑被率
都市計画公園	街区公園	33	74,897	72,741	48,138	554	48,692	66.18%	0.76%	66.94%
	近隣公園	3	36,959	38,324	7,933	10,757	18,690	20.70%	28.07%	48.77%
	地区公園	2	114,884	117,342	83,140	17,961	101,101	70.85%	15.31%	86.16%
	総合公園	1	76,337	74,780	36,624	6,279	42,903	48.98%	8.40%	57.37%
	小計	39	303,077	303,187	175,835	35,551	211,386	58.00%	11.73%	69.72%
都市計画緑地		1	992	817	785	0	785	96.04%	0.00%	96.04%
都市公園		121	111,620	110,409	61,429	3,245	64,674	55.64%	2.94%	58.58%
条例等の公園	条例公園	1	13,331	12,739	470	567	1,037	3.69%	4.45%	8.14%
	ポケットパーク	19	4,134	4,405	2,098	116	2,214	47.63%	2.63%	50.26%
	児童遊園	9	8,970	8,162	2,413	0	2,413	29.57%	0.00%	29.57%
	小計	29	26,436	25,305	4,981	683	5,664	19.68%	2.70%	22.38%
合計		190	442,124	439,719	243,030	39,480	282,510	55.27%	8.98%	64.25%

※面積・割合は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

※総合公園（江古田公園・哲学堂公園・上高田公園）は、1つの都市計画公園としている。

(3) 町別の公園緑地の緑被状況

町別の公園緑地状況を表 3-9、図 3-25 に示す。

なお、桃園川緑道は、中野と中央の 2 地域に、総合公園は、松が丘と上高田にまたがるため、それぞれの町目で 1 箇所と数えている。そのため全体箇所数は表 3-8 と異なる。

区民 1 人当たりの公園面積では、面積が最も大きいのは松が丘の 11.09 m^2 /人である。これは松が丘の哲学堂公園や妙正寺川公園、江古田公園等の比較的面积の大きい公園が存在すること及び町面積と人口が 2 番目に低いことが要因である。次いで 1 人当たりの公園面積が大きいのは、江古田の 5.58 m^2 /人、新井の 3.81 m^2 /人である。新井の公園面積は区内で 2 番目に大きく、江古田の公園面積は区内でも 3 番目に大きい、町面積及び人口が松が丘と比較し約 2 倍以上あることから 1 人当たり公園面積は、松が丘よりも小さくなっている。

区民 1 人当たりの公園面積が最も小さいのは鷺宮の 0.25 m^2 /人である。これは鷺宮には大規模な公園が存在していないことが主な要因である。次いで東中野及び野方では区民 1 人当たりの公園面積は 0.39 m^2 /人で小さい。これは、同様に小規模な公園のみであること、人口総数が比較的多いことが 1 人当たりの公園面積が低い要因となっている。

表 3-9 町別の公園緑地状況

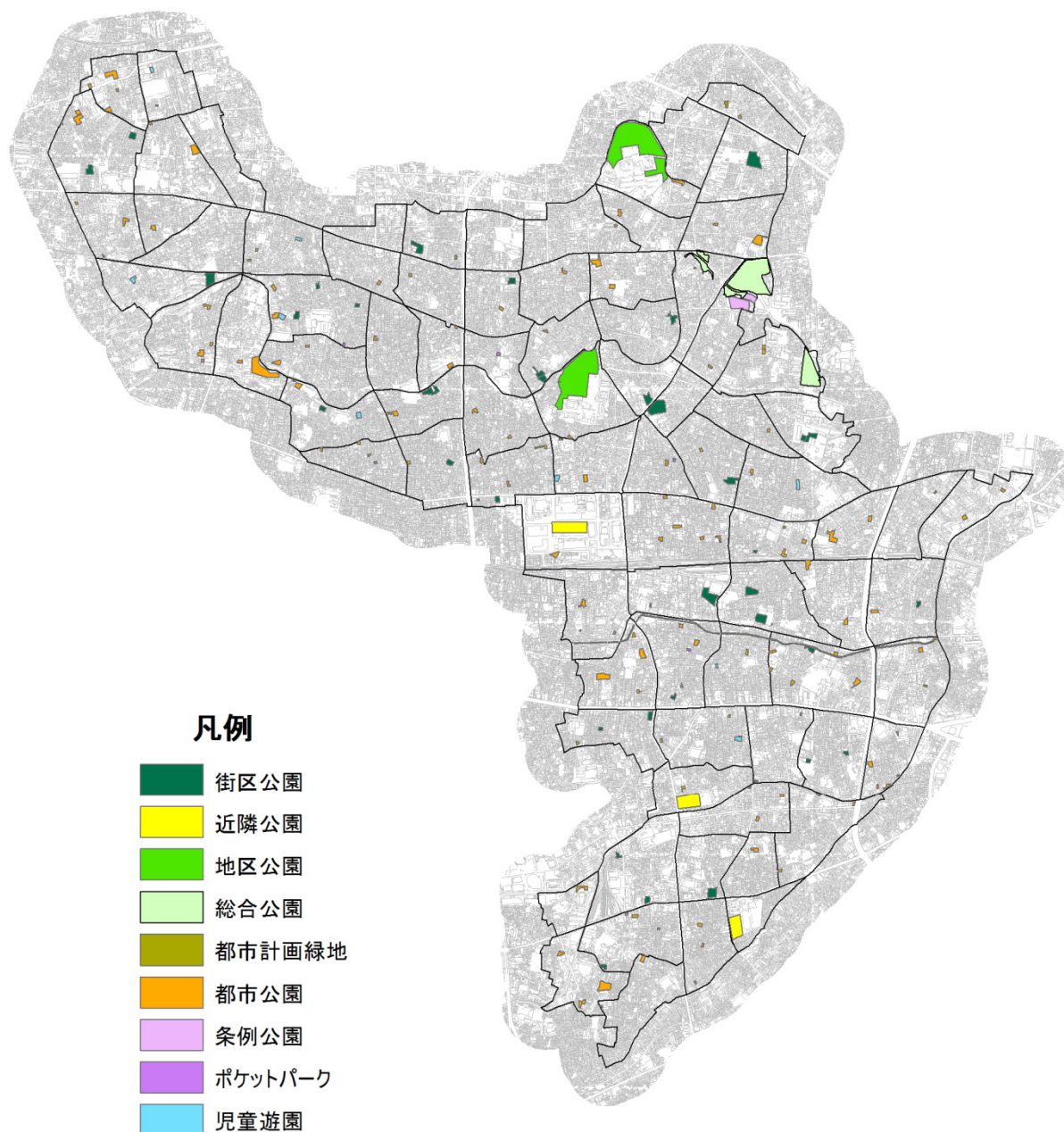
町名	町面積 (m^2)	人口総数 (人)	公園箇所数 (箇所)	公園面積 (m^2)	公園地率 (%)	1人当たり 公園面積 (m^2 /人)
南台	827,725	19,890	13	19,058	2.30%	0.96
弥生町	1,010,878	22,378	12	9,334	0.92%	0.42
本町	1,076,347	28,802	17	20,072	1.86%	0.70
中央	1,153,593	28,585	20	29,313	2.54%	1.03
東中野	950,229	23,288	9	9,091	0.96%	0.39
中野	1,456,626	26,692	22	36,901	2.53%	1.38
上高田	1,005,384	20,682	8	28,769	2.86%	1.39
新井	797,140	17,933	8	68,373	8.58%	3.81
沼袋	672,514	13,692	6	9,732	1.45%	0.71
松が丘	366,537	6,407	6	71,037	19.38%	11.09
江原町	515,468	9,209	3	8,159	1.58%	0.89
江古田	765,132	11,634	6	64,974	8.49%	5.58
丸山	274,032	4,980	2	3,222	1.18%	0.65
野方	927,614	21,085	13	8,130	0.88%	0.39
大和町	699,276	15,555	11	10,416	1.49%	0.67
若宮	662,455	12,695	10	7,551	1.14%	0.59
白鷺	611,469	11,471	8	18,729	3.06%	1.63
鷺宮	885,031	16,484	8	4,156	0.47%	0.25
上鷺宮	917,618	13,998	12	15,106	1.65%	1.08
区全体	15,575,070	325,460	194	442,124	2.84%	1.36

※都市公園(高根公園・桃園川緑道)が2町にまたがるため各町で計上し2箇所多い。

※町面積は地形図上の図形面積、公園面積は管理面積とする。

※人口は平成29年1月1日の住民基本台帳人口とする。

※公園面積は小数第1位、公園割合は小数第3位の四捨五入により集計値が合わない場合がある。



1,000 500 0 1,000 メートル

この背景の地図は、東京都都市整備局と（株）ミッドマップ東京が著作権を有しています。
（利用許諾番号）MMT 利許第 27009 号－51

図 3-25 公園緑地の分布

(4) 区民活動センター別の公園緑地の状況

区民活動センター別の公園緑地の分布状況を表 3-10 に示す。

なお、桃園川緑道は、桃園地域と東部地域の 2 地域に、総合公園では、江古田地域と上高田地域にまたがるためそれぞれの地域で 1 箇所と数えている。そのため全体箇所数は表 3-8 と異なる。

地域の面積に対する地域内に分布している公園面積の割合（公園地率）では、面積規模の大きい江古田地域、新井地域、上高田地域の大規模な地区公園、総合公園がある地域の公園地率は高いが、その他の地域では小規模な公園の分布のみのため公園地率は、1%前後であった。

また、公園の分布状況は各地域にばらつきが見られる。鷺宮地域、弥生地域、東部地域は都市公園の整備箇所は多いが公園面積は小さい。一方、新井地域では、公園箇所数は少ないが、平和の森公園の面積が大きいため公園地率は高くなっている。また、東中野地域には都市公園が 3 箇所だけであり、箇所数、面積ともに一番低い地域である。

表 3-10 区民活動センター別の公園緑地状況

区民活動 センター	地域面積 (㎡)	公園 箇所数	公園面積 (㎡)	公園地率 (%)
南中野	1,485,443	18	26,385	1.78%
弥生	763,288	14	5,373	0.70%
東部	1,381,722	18	25,009	1.81%
鍋横	723,343	12	20,380	2.82%
桃園	1,117,359	16	36,130	3.23%
昭和	771,977	13	9,144	1.18%
東中野	336,573	3	1,348	0.40%
上高田	854,059	8	28,769	3.37%
新井	724,964	5	66,747	9.21%
野方	1,283,341	17	12,755	0.99%
沼袋	890,257	7	9,921	1.11%
江古田	1,429,394	14	143,981	10.07%
大和	744,026	11	9,623	1.29%
鷺宮	2,052,314	26	30,592	1.49%
上鷺宮	1,017,009	13	15,967	1.57%
区全体	15,575,070	195	442,124	2.84%

※都市公園（高根・中央西公園・桃園川緑道）が2地域にまたがるため各地域で計上し3箇所多い。

※地域面積は地形図上の図形面積、公園面積は管理面積とする。

※公園面積は小数第1位、公園割合は小数第3位の四捨五入により集計値が合わない場合がある。

6) 公共公益施設の緑被現況

表 3-11 に公共公益施設の緑被の状況を示す。

公共公益施設全体の緑被率は 24.91%であった。そのうち、最も緑被率が高いのは集合住宅の 37.85%である。建築年の古い集合住宅の敷地内には樹木が多く残っており、また草地も有することから緑被の割合が高くなっている。次いで緑被率が高いのは、その他の 25.15%、次に学校施設の 22.04%であった。

その他施設においては、矯正研修所東京支所（緑被地面積 7,271 m²）や聖オディリアホーム（緑被地面積 1,046 m²）等の緑被率が比較的高い施設があること、また、中野南自転車駐輪場の樹木面積（1,938 m²）が大きいことが緑被率の高い主な要因である。

学校においては、他施設と比較して草地と屋上緑化の割合が高い。また、区立小学校と大学の緑被率は 25%以上と高い。これは、校庭の芝生化や屋上緑化の整備が進んだことによる。

福祉等施設においては、学校の次に緑被率が高く、18.64%であった。高齢者施設の緑被率が 19.58%と最も高く、緑被項目別にみると屋上緑化の割合が他福祉等施設中でも最も高くなっている。

なお、区役所においては、緑被地面積が 1,681 m²に対し、屋上緑化が 628 m²と緑被率のうち約 4 割が屋上緑化であることが分かる。

表 3-11 公共公益施設の緑被の状況

	区分		施設数	敷地面積 (㎡)	面積			緑被面積 (㎡)	割合			緑被率
					樹木 (㎡)	草地 (㎡)	屋上緑化 (㎡)		樹木	草地	屋上緑化	
10	区立庁舎	22 区役所	1	9,620	1,053	0	628	1,681	10.94%	0.00%	6.53%	17.47%
		23 区民活動センター	16	24,792	4,359	83	0	4,442	17.58%	0.34%	0.00%	17.92%
			17	34,411	5,411	83	628	6,123	15.72%	0.24%	1.83%	17.79%
11	福祉等施設	24 区立保育園	26	25,074	4,790	5	0	4,795	19.10%	0.02%	0.00%	19.12%
		25 区立幼稚園	3	3,573	671	9	8	687	18.78%	0.24%	0.22%	19.24%
		26 児童館	12	13,176	2,132	406	0	2,538	16.18%	3.08%	0.00%	19.26%
		27 保健所・保健福祉センター	6	7,254	859	0	104	963	11.84%	0.00%	1.43%	13.28%
		28 高齢者施設	23	30,434	4,847	586	525	5,958	15.93%	1.92%	1.73%	19.58%
		29 障害者施設	2	700	7	0	0	7	0.96%	0.00%	0.00%	0.96%
			72	80,211	13,306	1,005	637	14,948	16.59%	1.25%	0.79%	18.64%
12	学校	30 区立小学校	26	241,187	47,138	14,008	1,154	62,301	19.54%	5.81%	0.48%	25.83%
		31 区立中学校	11	126,436	21,411	1,729	474	23,614	16.93%	1.37%	0.37%	18.68%
		32 公立高校	6	150,362	23,546	7,145	596	31,286	15.66%	4.75%	0.40%	20.81%
		33 私立学校	7	62,562	5,449	2,154	1,032	8,635	8.71%	3.44%	1.65%	13.80%
		34 大学	6	51,940	9,034	2,351	2,569	13,955	17.39%	4.53%	4.95%	26.87%
		35 その他学校	1	9,246	1,032	560	88	1,679	11.16%	6.06%	0.95%	18.16%
			57	641,733	107,610	27,947	5,913	141,470	16.77%	4.35%	0.92%	22.04%
13	文化等施設	36 図書館	5	3,825	520	0	2	522	13.59%	0.00%	0.06%	13.65%
		37 会館	7	25,857	3,178	168	349	3,695	12.29%	0.65%	1.35%	14.29%
		38 体育館	2	8,192	949	323	0	1,271	11.58%	3.94%	0.00%	15.52%
			14	37,873	4,646	490	351	5,488	12.27%	1.30%	0.93%	14.49%
15	集合住宅	39 区営住宅	12	32,770	10,332	2,045	0	12,377	31.53%	6.24%	0.00%	37.77%
		40 都営住宅	26	112,698	29,926	4,724	0	34,650	26.55%	4.19%	0.00%	30.75%
		41 公社住宅	4	76,842	29,193	6,879	0	36,072	37.99%	8.95%	0.00%	46.94%
		42 UR住宅	1	6,714	2,286	1,310	0	3,596	34.04%	19.51%	0.00%	53.55%
			43	229,024	71,737	14,958	0	86,695	31.32%	6.53%	0.00%	37.85%
16	その他	43 駐輪場	22	16,027	2,988	211	0	3,199	18.64%	1.31%	0.00%	19.96%
		50 その他公共公益施設(区以外も含む)	14	37,625	8,382	1,935	38	10,355	22.28%	5.14%	0.10%	27.52%
		51 その他未利用地	7	2,782	357	283	0	640	12.84%	10.17%	0.00%	23.00%
			43	56,434	11,727	2,429	38	14,194	20.78%	4.30%	0.07%	25.15%
	区全体		246	1,079,686	214,437	46,913	7,568	268,918	19.86%	4.35%	0.70%	24.91%

※面積・割合は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

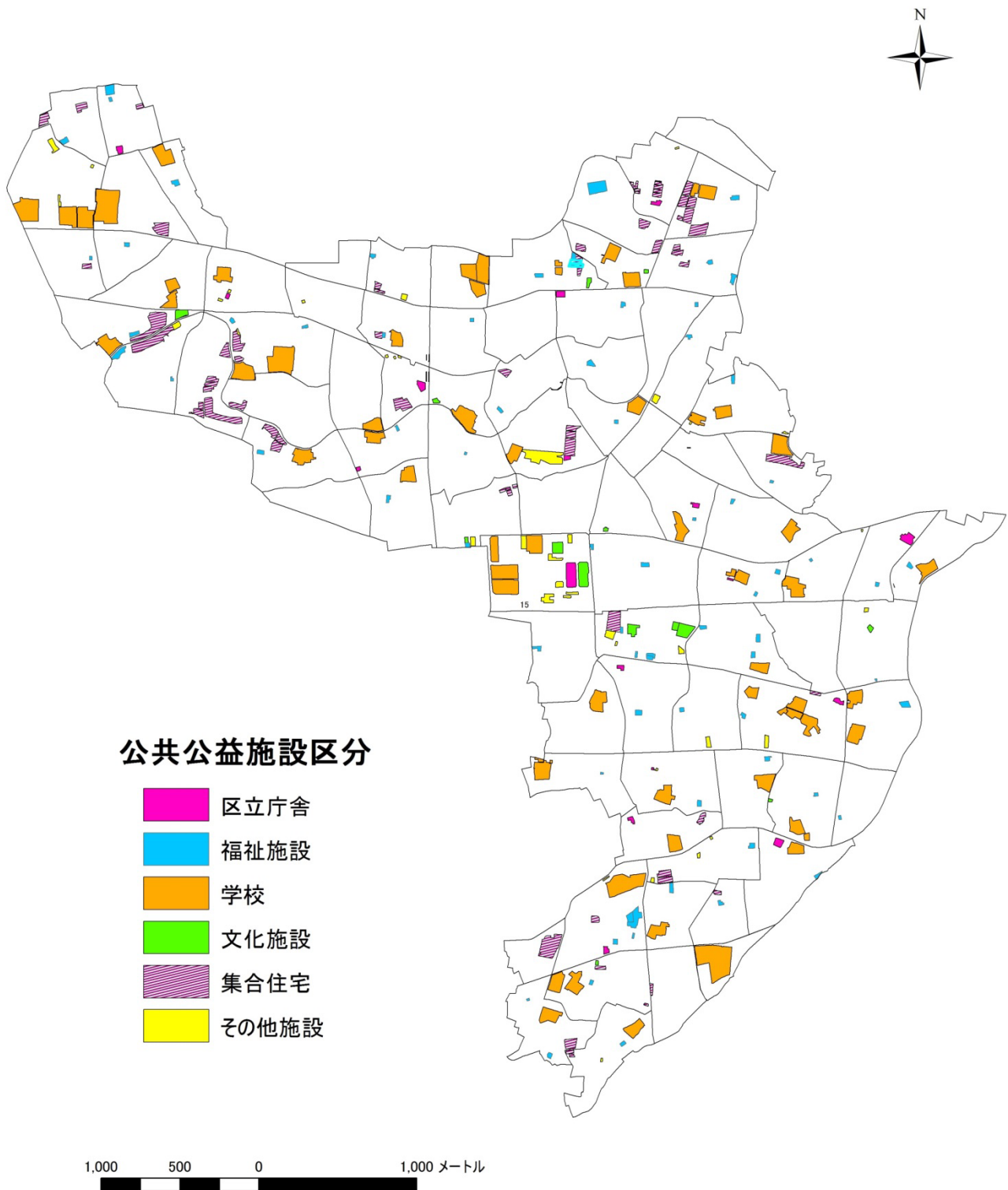


図 3-26 公共公益施設の分布

3-3 緑被率の推移

1) 区全体の経年変化

平成19年度調査と平成28年度調査の緑被地状況の経年変化を表3-12に示す。緑被地面積全体では254.96ha（平成19年度）から251.35ha（平成28年度）で3.61haの減少であった。また緑被率は16.37%（平成19年度）から16.14%（平成28年度）の0.23ポイントの減少であった。緑被地の変化の内訳をみると、樹木の減少が9.07haであった。一方、草地は4.44ha、屋上緑化は1.03ha増加した。哲学堂公園は4.4haであり、減少した樹木地は哲学堂公園の2個分に相当する。

樹木の主な減少要因としては、規模の大きい住宅地域が集合住宅や分譲戸建て住宅の開発、駐車場の整備等により、屋敷林等が消失または減少したことによる。草地の主な増加要因としては、教育施設における校庭の芝生化、未利用地における草地の増加等である。また新設された集合住宅の緑化に伴い草地が増加した箇所も確認された。屋上緑化の主な増加要因としては、教育施設、集合住宅、民間施設や福祉施設等における屋上緑地が新たに整備されたことによる。

樹木が増加した箇所は、街路樹や公園敷地内の樹木の生長による小規模なものであった。

表 3-12 区全体の緑被地状況の経年変化

	平成19年度		平成28年度		増減(H28-H19)	
	面積(ha)	比率	面積(ha)	比率	面積(ha)	増減(ポイント)
樹木	234.99	15.09%	225.92	14.50%	-9.07	-0.59
草地	18.19	1.17%	22.63	1.45%	4.44	0.28
屋上緑化	1.78	0.11%	2.81	0.18%	1.03	0.07
緑被地 計	254.96	16.37%	251.35	16.14%	-3.61	-0.23

※割合は小数第3位を四捨五入とする

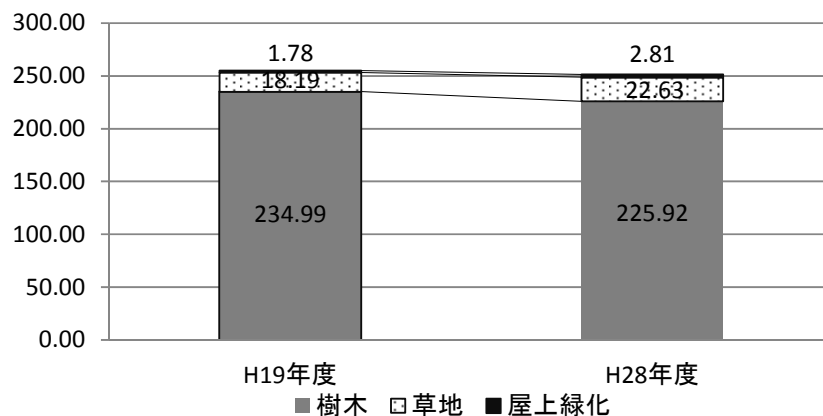


図 3-27 緑被地状況の変化

2) 町丁目別の経年変化

平成19年度調査と平成28年度調査の町丁目別の緑被率の経年変化を図3-28、表3-13に示す。

平成19年度調査から緑被率が3ポイント以上増加した町丁目は1町丁目であった。3ポイント以上減少した町丁目は、6町丁目であった。緑被率が増加した町丁目は、新井三丁目が3.38ポイントと最も高かった。これは、平成19年度調査では、平和の森公園が整備中で裸地であったが、平成28年度調査では、植栽工事による樹木が増えたことが主な要因である。次いで、東中野二丁目と松が丘二丁目が共に1.96ポイント、上鷺宮五丁目が1.92ポイントの増加であった。東中野二丁目の緑被率の主な増加要因は、住宅の建て替えにより緑地が増加したことや、その他樹木の生長によるものである。松が丘二丁目では、住宅地や中野通りの樹木の生長が主な要因である。

一方、最も緑被率の減少した町丁目は、白鷺一丁目の-7.64ポイントであった。これは地下調節池と、その人工地盤上の白鷺せせらぎ公園を整備するため従前都営住宅であった土地の既存樹林を伐採し、荷重のかからない草地等を整備したことによる樹木の減少が主な要因である。次いで減少率が高いのは、江古田三丁目の-6.32ポイント、南台1丁目の-5.70ポイントであった。江古田三丁目の主な緑被率の減少要因は、国家公務員宿舎跡地の開発に伴い、一時的な更地となっていることによる。南台一丁目の主な緑被率の減少要因は、南台いちょう公園の整備に伴う樹木の減少や東京大学教育学部附属中等教育学校の樹木が減少したことによる。中野四丁目では、樹木の減少が-5.81ポイントと白鷺一丁目と江古田三丁目に次いで高いが、緑被率の減少は、-0.43ポイントと低かった。これは中野四季の森公園が整備されたことにより草地が増加したこと、及び屋上緑化の増加が1.51ポイント高くなったことで緑被全体の減少は低くなっている。

このほか、今後は新たな大規模公園の整備に伴い、植え替えられた若木等の生長による緑被地面積の増加が期待される。

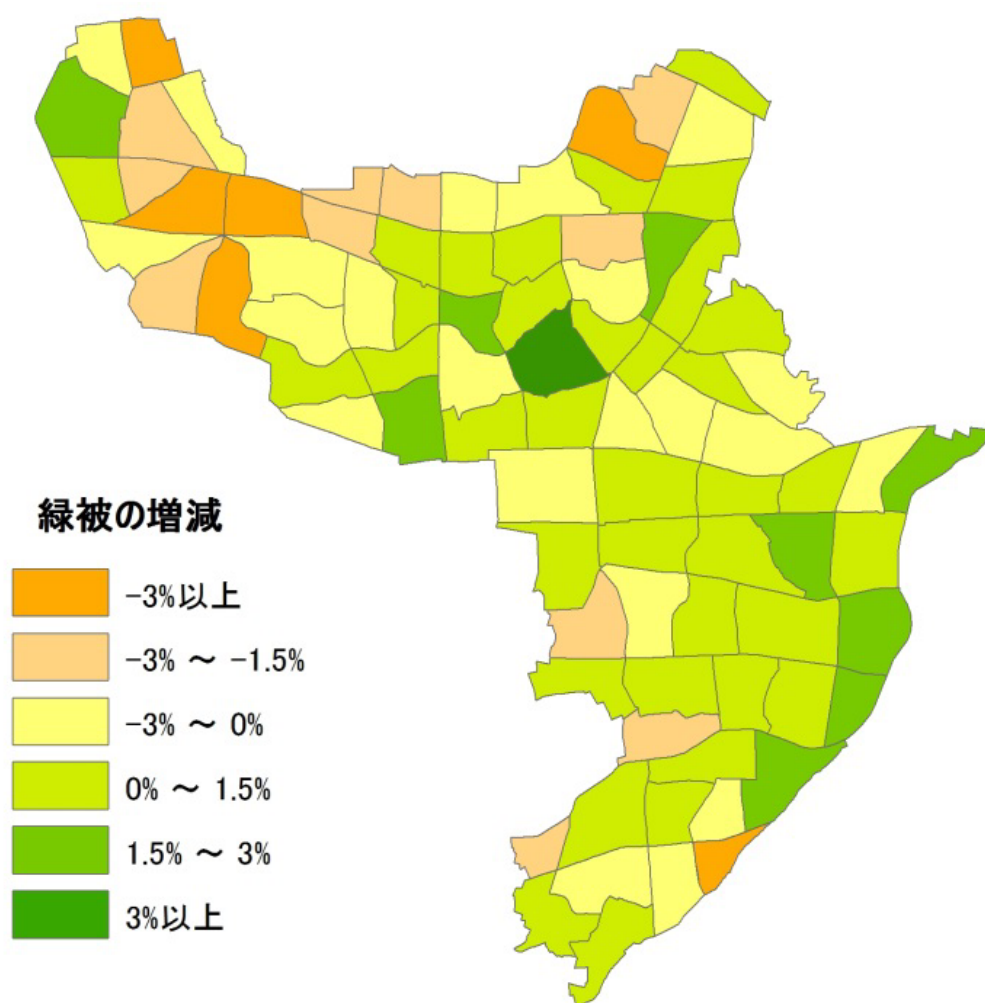


図 3-28 町丁目別の緑被率経年変化図（平成 28 年－平成 19 年）

表 3-13(1) 町丁目別緑被率の経年変化（平成 28 年－平成 19 年）

code	町丁目	町丁目面積	緑被率			樹木 増減 (ポイント)	草地 増減 (ポイント)	屋上緑化 増減 (ポイント)
			平成28年	平成19年	H28－H19 増減(ポイント)			
1	南台一丁目	90,270	15.42%	21.12%	-5.70	-4.37	-1.29	-0.04
2	南台二丁目	160,802	7.65%	7.72%	-0.07	0.24	-0.22	-0.09
3	南台三丁目	210,244	15.89%	16.36%	-0.47	-1.25	0.76	0.03
4	南台四丁目	188,302	13.29%	12.45%	0.84	0.80	-0.14	0.19
5	南台五丁目	178,106	13.32%	12.08%	1.24	0.96	0.20	0.07
	南台計	827,725	13.09%	13.39%	-0.30	-0.36	0.02	0.05
6	弥生町一丁目	220,602	10.37%	8.64%	1.73	1.17	0.32	0.24
7	弥生町二丁目	178,236	8.96%	7.99%	0.97	0.26	0.70	0.00
8	弥生町三丁目	112,461	8.69%	8.77%	-0.09	-0.10	-0.03	0.04
9	弥生町四丁目	145,977	17.19%	16.65%	0.54	0.12	0.47	-0.05
10	弥生町五丁目	265,868	15.28%	14.81%	0.47	-0.19	0.57	0.08
11	弥生町六丁目	87,735	23.09%	24.94%	-1.84	-2.65	0.78	0.03
	弥生町計	1,010,878	13.32%	12.73%	0.58	0.03	0.48	0.07
12	本町一丁目	126,575	10.78%	9.17%	1.61	1.01	0.51	0.08
13	本町二丁目	220,372	13.44%	12.72%	0.72	-0.26	0.85	0.14
14	本町三丁目	175,199	13.07%	12.45%	0.63	0.41	0.22	-0.01
15	本町四丁目	221,168	12.04%	11.29%	0.75	0.37	0.38	-0.01
16	本町五丁目	163,025	14.00%	16.32%	-2.32	-5.02	2.83	-0.12
17	本町六丁目	170,008	12.64%	11.89%	0.75	-0.30	1.11	-0.06
	本町計	1,076,347	12.74%	12.38%	0.36	-0.60	0.95	0.01
18	中央一丁目	231,316	15.02%	12.76%	2.27	1.74	0.40	0.13
19	中央二丁目	296,185	14.45%	13.38%	1.07	0.14	0.76	0.17
20	中央三丁目	199,347	9.30%	8.83%	0.48	0.54	0.02	-0.08
21	中央四丁目	225,384	10.78%	12.00%	-1.22	-0.94	-0.27	-0.01
22	中央五丁目	201,361	12.75%	14.46%	-1.71	-2.09	0.20	0.17
	中央計	1,153,593	12.66%	12.39%	0.27	-0.07	0.26	0.08
23	東中野一丁目	235,254	13.20%	12.78%	0.42	0.26	0.13	0.02
24	東中野二丁目	215,258	18.01%	16.05%	1.96	1.30	0.64	0.01
25	東中野三丁目	163,145	12.66%	11.30%	1.36	1.08	0.16	0.12
26	東中野四丁目	160,798	10.61%	11.32%	-0.71	-0.76	0.04	0.01
27	東中野五丁目	175,774	18.53%	16.32%	2.21	1.63	0.29	0.30
	東中野計	950,229	14.74%	13.67%	1.07	0.72	0.27	0.08
28	中野一丁目	241,750	11.92%	11.86%	0.07	-0.09	0.08	0.08
29	中野二丁目	201,045	17.71%	16.52%	1.18	0.06	1.09	0.04
30	中野三丁目	230,305	13.38%	12.22%	1.16	0.82	0.39	-0.06
31	中野四丁目	322,061	21.67%	22.10%	-0.43	-5.81	3.91	1.51
32	中野五丁目	302,913	9.52%	8.79%	0.73	0.44	0.23	0.06
33	中野六丁目	158,552	12.46%	12.46%	0.00	0.16	-0.36	0.19
	中野計	1,456,626	14.66%	14.25%	0.42	-1.05	1.10	0.38
34	上高田一丁目	268,137	14.14%	15.32%	-1.19	-1.34	0.16	-0.01
35	上高田二丁目	193,726	11.03%	11.61%	-0.59	-0.71	0.00	0.12
36	上高田三丁目	131,654	11.96%	11.84%	0.11	0.40	-0.27	-0.02
37	上高田四丁目	188,193	23.76%	24.60%	-0.84	-2.71	1.69	0.08
38	上高田五丁目	223,675	19.19%	18.16%	1.03	0.30	0.73	0.00
	上高田計	1,005,384	16.18%	16.53%	-0.35	-0.88	0.49	0.03
39	新井一丁目	142,659	7.63%	8.07%	-0.44	-0.16	-0.09	-0.19
40	新井二丁目	194,812	13.47%	12.75%	0.71	0.50	0.20	0.01
41	新井三丁目	237,316	35.99%	32.62%	3.38	3.36	0.04	-0.03
42	新井四丁目	124,304	16.50%	15.34%	1.15	0.15	0.96	0.04
43	新井五丁目	98,050	19.21%	17.95%	1.26	2.10	-0.88	0.04
	新井計	797,140	20.31%	18.87%	1.44	1.38	0.09	-0.03

※面積・割合は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

表 3-13(2) 町丁目別緑被率の経年変化（平成 28 年－平成 19 年）

code	町丁目	町丁目面積	緑被率			樹木 増減 (ポイント)	草地 増減 (ポイント)	屋上緑化 増減 (ポイント)
			平成28年	平成19年	H28－H19 増減(ポイント)			
44	沼袋一丁目	176,105	12.27%	12.74%	-0.48	-0.31	-0.13	-0.03
45	沼袋二丁目	175,453	19.65%	22.08%	-2.43	-2.81	0.41	-0.03
46	沼袋三丁目	159,771	12.91%	12.50%	0.41	0.30	-0.04	0.16
47	沼袋四丁目	161,184	18.21%	17.72%	0.48	0.04	0.48	-0.04
	沼袋計	672,514	15.77%	16.32%	-0.55	-0.74	0.18	0.01
48	松が丘一丁目	205,788	29.20%	28.69%	0.51	1.05	-0.52	-0.02
49	松が丘二丁目	160,749	22.09%	20.13%	1.96	2.20	-0.23	0.00
	松が丘計	366,537	26.08%	24.94%	1.14	1.55	-0.39	-0.01
50	江原町一丁目	210,601	22.69%	23.65%	-0.96	-1.39	0.48	-0.05
51	江原町二丁目	173,982	18.03%	20.02%	-2.00	-2.02	0.05	-0.03
52	江原町三丁目	130,885	14.90%	13.81%	1.09	0.71	0.41	-0.04
	江原町計	515,468	19.14%	19.93%	-0.79	-1.07	0.32	-0.04
53	江古田一丁目	195,920	21.50%	20.71%	0.79	-0.32	1.11	0.00
54	江古田二丁目	127,149	12.86%	12.44%	0.42	0.44	-0.08	0.05
55	江古田三丁目	224,321	39.42%	45.74%	-6.32	-6.01	-0.30	-0.01
56	江古田四丁目	217,742	13.50%	13.76%	-0.26	-0.40	0.08	0.06
	江古田計	765,132	23.04%	24.69%	-1.65	-1.88	0.21	0.02
57	丸山一丁目	137,813	15.40%	16.67%	-1.26	-1.35	0.08	0.00
58	丸山二丁目	136,220	11.47%	13.32%	-1.85	-1.30	-0.54	0.00
	丸山計	274,032	13.45%	15.00%	-1.55	-1.33	-0.23	0.00
59	野方一丁目	187,769	12.68%	12.66%	0.02	0.26	-0.35	0.11
60	野方二丁目	204,995	13.00%	13.53%	-0.53	-0.45	-0.12	0.04
61	野方三丁目	120,016	13.54%	11.04%	2.50	1.79	0.72	-0.01
62	野方四丁目	152,753	15.70%	15.54%	0.16	0.17	-0.01	0.00
63	野方五丁目	111,778	13.85%	13.09%	0.76	-0.05	0.73	0.08
64	野方六丁目	150,303	13.71%	13.70%	0.01	-2.01	1.66	0.37
	野方計	927,614	13.67%	13.34%	0.33	-0.12	0.35	0.10
65	大和町一丁目	203,709	11.69%	10.01%	1.68	0.62	1.04	0.02
66	大和町二丁目	148,700	14.38%	13.91%	0.47	0.09	0.27	0.11
67	大和町三丁目	141,392	12.62%	13.46%	-0.84	-0.94	0.14	-0.04
68	大和町四丁目	205,475	19.52%	19.35%	0.17	0.94	-0.77	0.01
	大和町計	699,276	14.75%	14.28%	0.47	0.29	0.16	0.02
69	若宮一丁目	184,908	14.46%	15.11%	-0.65	-1.34	0.64	0.06
70	若宮二丁目	214,721	14.89%	15.34%	-0.45	-0.50	0.05	0.00
71	若宮三丁目	262,825	16.38%	16.98%	-0.60	-0.97	0.36	0.00
	若宮計	662,455	15.36%	15.93%	-0.57	-0.92	0.34	0.02
72	白鷺一丁目	221,399	24.67%	32.31%	-7.64	-8.51	0.81	0.06
73	白鷺二丁目	215,441	22.69%	24.29%	-1.60	-0.76	-0.84	0.00
74	白鷺三丁目	174,629	22.75%	22.99%	-0.24	-1.06	0.85	-0.02
	白鷺計	611,469	23.42%	26.82%	-3.40	-3.66	0.24	0.02
75	鷺宮一丁目	138,594	13.39%	15.62%	-2.24	-2.01	-0.23	0.00
76	鷺宮二丁目	83,748	15.86%	17.71%	-1.85	-2.81	0.95	0.01
77	鷺宮三丁目	188,405	13.08%	17.06%	-3.97	-4.29	0.32	-0.01
78	鷺宮四丁目	201,426	17.52%	20.98%	-3.46	-2.74	-0.74	0.02
79	鷺宮五丁目	110,676	14.26%	16.85%	-2.59	-0.52	-2.08	0.01
80	鷺宮六丁目	162,182	15.56%	15.28%	0.28	0.99	-0.74	0.03
	鷺宮計	885,031	15.00%	17.44%	-2.43	-2.00	-0.44	0.01
81	上鷺宮一丁目	144,404	16.56%	17.94%	-1.39	-0.63	-0.74	-0.01
82	上鷺宮二丁目	218,586	20.43%	23.15%	-2.72	-2.11	-0.63	0.02
83	上鷺宮三丁目	136,546	19.08%	24.24%	-5.15	-3.13	-1.99	-0.04
84	上鷺宮四丁目	132,588	20.93%	21.73%	-0.81	-0.21	-0.54	-0.06
85	上鷺宮五丁目	285,493	22.96%	21.03%	1.92	1.32	0.46	0.15
	上鷺宮計	917,618	20.48%	21.63%	-1.15	-0.69	-0.50	0.04
	区全体	15,575,070	16.14%	16.37%	-0.23	-0.58	0.28	0.07

※面積・割合は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

3) 用途地域別の経年変化

平成 19 年度調査と平成 28 年度調査の用途地域別の緑被率の経年変化を表 3-14 に示す。

緑被率の減少が最も高かったのは第 1 種低層住居専用地域の-0.61 ポイント、次いで近隣商業地域の-0.26 ポイント、第 1 種中高層住居専用地域の-0.12 ポイントであった。

第 1 種低層住居専用地域では、草地及び屋上緑化は平成 19 年度調査と比較し増加しているが、樹木の減少が-0.69 ポイントと 2 番目に高い。同地域は、町別でみると野方、上高田の一部を除いた JR 中央線を境とした北部を占める。主な樹木の減少要因としては、集合住宅の新設、大規模住宅地内の開発や福祉施設等の整備によって既存の樹林地が消失したことによる。

第 1 種中高層住居専用地域では、樹木の減少が最も高く-0.93 ポイントであった。同地域は町別にみると、野方、上高田の一部、新井及び JR 中央線沿線を境にした区の中部から南側の広い範囲を占める。集合住宅の新設、社寺境内敷地内における駐車場の整備に伴う緑地の減少が、主な樹木の減少要因である。また住宅地内の小規模な樹木の減少も多く見られた。また、緑被項目別では、第 1 種中高層住居専用地域では草地と屋上緑化の増加が最も高い。これは主に教育施設において、校庭芝生化や屋上緑化が整備されたことが主な要因である。

近隣商業地域は、区内の幹線道路に位置している。主な樹木の減少要因としては、中杉通りの街路樹の剪定または植え替えによる樹冠面積の減少や中野四丁目の地区計画整備に伴う早稲田通りの街路樹の減少である。

一方、準工業地域、第 1 種住居地域、商業地域では緑被率の増加が確認された。準工業系地域では、平和の森公園に隣接している裸地における草地の増加及び東京地下鉄中野車両管理所中野工場内の樹木の生長が、主な緑被率の増加要因である。

第 1 種住居地域では、住宅地の樹木の生長による増加が主な増加要因である。商業地域では、中野通りの街路樹の生長や東中野五丁目の民間施設による緑地の整備、本町・中央の山手通り及び青梅街道内の草地・街路樹及び樹木の増加が主な緑被率の増加要因として挙げられる。

表 3-14 用途地域別緑被経年変化（平成 28 年－平成 19 年）

用途地域		樹木 (H28-H19)		草地 (H28-H19)		屋上緑化 (H28-H19)		緑被地面積 (H28-H19)	
用途地域	面積(m ²)	面積(m ²)	増減 (ポイント)	面積(m ²)	増減 (ポイント)	面積(m ²)	増減 (ポイント)	面積(m ²)	比率
第1種低層住居 専用地域	6,344,455	-43,716	-0.69	2,857	0.05	1,935	0.03	-38,924	-0.61
第1種中高層 住居専用地域	5,123,346	-47,461	-0.93	33,966	0.66	7,400	0.14	-6,095	-0.12
第2種中高層 住居専用地域	39,679	201	0.51	-9	-0.02	-13	-0.03	179	0.45
第1種住居地域	665,366	3,503	0.53	893	0.13	208	0.03	4,604	0.69
近隣商業地域	2,452,196	-10,488	-0.43	3,242	0.13	807	0.03	-6,439	-0.26
商業地域	676,869	1,343	0.20	2,532	0.37	-125	-0.02	3,749	0.55
準工業地域	187,044	6,204	3.32	295	0.16	-77	-0.04	6,422	3.43
準工業地域 (特別工業地区)	86,115	-358	-0.42	588	0.68	119	0.14	350	0.41
合 計	15,575,070	-90,772	-0.58	44,364	0.28	10,254	0.07	-36,153	-0.23

※面積は四捨五入により集計値と合わない場合がある。

表 3-15 道路・河川・公園等を除いた用途地域別緑被状況

単位:m²

用途地域		建ぺい率	敷地面積	樹木	草地	屋上緑化	緑被地	緑被率
住居系	第1種低層住居専 用地域	40	501,340	104,003	13,095	518	117,616	23.46%
	第1種低層住居専 用地域	50	981,411	166,458	12,973	270	179,702	18.31%
	第1種低層住居専 用地域	60	3,662,754	606,041	53,034	3,297	662,372	18.08%
	第1種低層住居専 用地域 計		5,145,504	876,502	79,102	4,085	959,690	18.65%
	第1種中高層住居専 用地域	60	4,183,331	580,375	79,972	13,531	673,879	16.11%
	第2種中高層住居専 用地域	60	36,203	4,051	313	126	4,490	12.40%
	第1種住居地域	60	466,144	56,143	5,106	988	62,237	13.35%
住居系			9,831,182	1,517,072	164,493	18,730	1,700,295	17.29%
商業系	近隣商業地域	80	1,630,350	106,003	6,607	4,463	117,073	7.18%
	商業地域	80	424,784	20,400	2,096	4,308	26,803	6.31%
商業系			2,055,135	126,403	8,703	8,771	143,876	7.00%
工業系	準工業地域	60	110,473	22,367	18,452	161	40,980	37.09%
	準工業地域 (特別工業地区)	60	70,298	5,888	1,732	243	7,863	11.18%
	準工業地域		180,771	28,255	20,184	403	48,842	27.02%
	工業系		180,771	28,255	20,184	403	48,842	27.02%
区全体			12,067,088	1,671,729	193,379	27,905	1,893,014	15.69%

※面積は四捨五入により集計値と合わない場合がある。

4) 町別の経年変化

平成 19 年度調査と平成 28 年度調査の町別の緑被率の経年変化を表 3-16 に示す。また以下に町別の主な緑被等の変化要因等を示す。

① 南台

南台の緑被地は、-2,442 m²減少した。樹木は-2,984 m²の減少、草地は 161 m²、屋上緑化は 381 m²の増加であった。

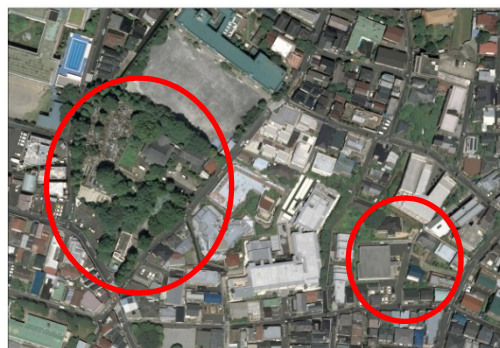
【主な緑被等の変化要因等】

- ・ 樹木の主な減少要因は、南台一丁目における南台いちよう公園の整備に伴う樹木の伐採、東京大学教育学部附属中等教育学校の樹木の減少、集合住宅の建設や南台三丁目の社寺境内敷地における墓地用地拡張に伴う樹木の伐採である。
- ・ 草地の主な増加要因は、南台三丁目の宅地の更地化によるものであった。(一部空地の宅地化による草地の減少も確認された)
- ・ 屋上緑化の主な増加箇所は、都立中野特別支援学校及び新山小学校における屋上緑化によるものであった。

南台三丁目：樹木の減少



平成 19 年度



平成 28 年度

新山小学校における屋上緑化



平成 19 年度



平成 28 年度

②弥生町

弥生町の緑被地は、5,871 m²増加した。樹木は 306 m²、草地は 4,832 m²、屋上緑化は 733 m²の増加であった。

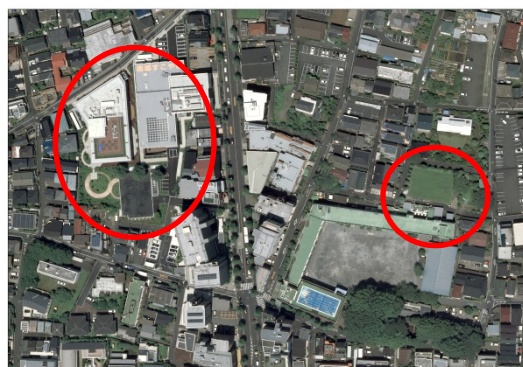
【主な緑被等の変化要因等】

- ・ 樹木及び草地の主な増加要因は、弥生町四・五丁目の公社住宅（コーシャハイム中野弥生町）の建設に伴う樹木（一部減少もあり）、及び草地の増加や、中野神明小学校の校庭芝生化、及び南部すこやか福祉センターの整備に伴う草地の増加であった。一部更地における草地の増加も確認された。
- ・ 主な屋上緑化の増加箇所は、高齢者施設、集合住宅や東京工芸大学（中野キャンパス 3 号館）の新設に伴う屋上緑化の整備によるものであった。

南部すこやか福祉センターの草地・屋上緑化の増加及び住宅地の更地化による草地の増加



平成 19 年度

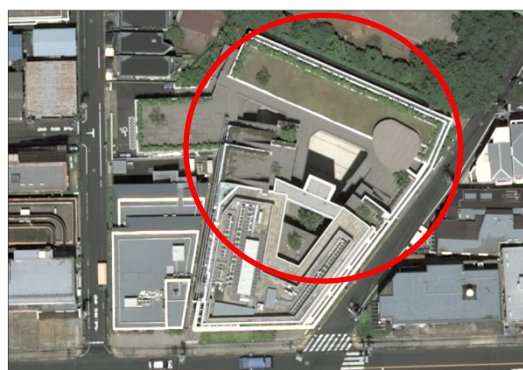


平成 28 年度

東京工芸大学の屋上緑化



平成 19 年度



平成 28 年度

③本町

本町の緑被地は、3,866 m²増加した。樹木は-6,462 m²減少した。草地は10,260 m²、屋上緑化は68 m²の増加であった。

【主な緑被等の変化要因等】

- ・主な草地の増加箇所は、新渡戸文化中学校・高等学校における校庭芝生化によるものであった。また本五ふれあい公園の整備による草地の増加も確認されたが、樹木の減少も見られた。
- ・主な樹木の減少要因としては、本町二丁目における大規模住宅地の開発による集合住宅の新設に伴うものであった。
- ・主な屋上緑化の増加要因としては、東京工芸大学の新設に伴う屋上緑化の整備によるものであった。

本町二丁目：大規模住宅地の開発による集合住宅の新設



平成 19 年度



平成 28 年度

新渡戸文化中学校・高等学校の校庭芝生化



平成 19 年度



平成 28 年度

④中央

中央の緑被地は、3,171 m²増加した。樹木は-843 m²の減少であった。草地は、3,039 m²の増加、屋上緑化は975 m²の増加であった。

【主な緑被等の変化要因等】

- ・ 樹木の主な減少要因は、中央一丁目の大規模な住宅地内における住宅の開発によるものであった。
 - ・ 草地及び屋上緑化の主な増加箇所は、中央一丁目の塔山小学校の校庭芝生化及び屋上緑化、中央二丁目の実践学園中学校・高等学校における屋上緑化、中央五丁目の桃花小学校における屋上緑化によるものであった。
- また一部住宅地の更地化による草地の増加も確認された。

中央一丁目：住宅地の開発による樹木の減少



平成 19 年度



平成 28 年度

塔山小学校の校庭芝生化・屋上緑化



平成 19 年度



平成 28 年度

⑤東中野

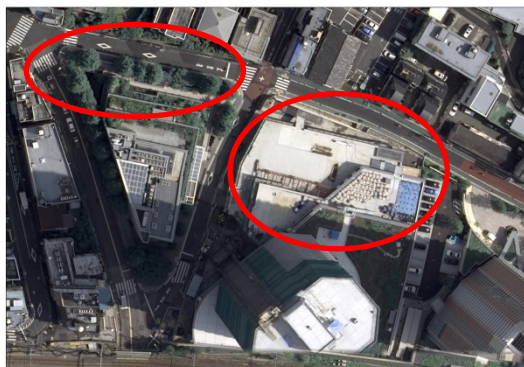
東中野の緑被地は、10,163 m²増加した。樹木は 6,832 m²の増加、草地は、2,536 m²の増加、屋上緑化は 796 m²の増加であった。

【主な緑被等の変化要因等】

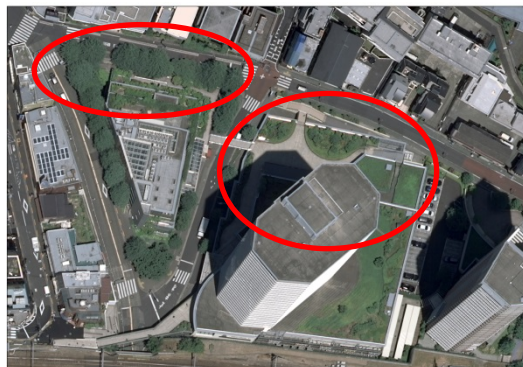
- ・ 主な樹木及び草地の増加要因は、山手通り内における街路樹及び草地整備によるものであった。また東中野五丁目の商業施設（ユニゾンモール）や隣接商業施設の樹木被覆地の増加が確認された。

集合住宅、高齢者施設及び保育園の新設に伴う樹木と屋上緑化の増加が確認された。

東中野五丁目：商業施設や隣接商業施設の樹木被覆地の増加



平成 19 年度



平成 28 年度

山手通り：樹木（街路樹）・草地の増加



平成 19 年度



平成 28 年度

⑥中野

中野の緑被地は、6,137 m²増加した。樹木は-15,346 m²の減少と町別で3番目に減少値が大きい。草地は、16,018 m²の増加、屋上緑化は5,465 m²といずれも区内で最も増加した。

【主な緑被等の変化要因等】

- ・主な樹木の減少は、中野駅北口駅前広場及び駐輪場の整備に伴うものであった。
- ・主な草地の増加は、中野四丁目地区地区計画事業に伴う中野四季の森公園の整備によるものであった。
- ・主な屋上緑化の増加箇所は、上記、地区計画事業に伴い新設された早稲田大学・帝京平成大学・明治大学大学・中野セントラルパーク・区立中野中学校・警察・病院等における屋上緑化の整備によるものである。

中野四丁目地区地区計画事業箇所：屋上緑化の増加



平成 19 年度



平成 28 年度

中野駅北口駅前広場・駐輪場の整備による樹木の減少



平成 19 年度



平成 28 年度

⑦上高田

上高田の緑被地は、-3,642 m²減少した。樹木は-8,892 m²の減少、草地は、4,909 m²の増加、屋上緑化は 342 m²の増加であった。

【主な緑被等の変化要因等】

- ・ 主な樹木の減少要因は、上高田四丁目の民間施設の新設(墓地の拡大)及び上高田二丁目の大規模な住宅地内の開発等による樹木の減少であった。
- ・ 主な樹木及び草地の減少箇所は、大妻中野中学校・高等学校敷地内における建設であった。(一部草地の減少も確認された)。
- ・ 主な草地の増加要因は、上高田四丁目における集合住宅敷地内の草地の増加、区営上高田四丁目アパート内の草地の増加であった。

上高田四丁目：墓地用地拡張に伴う伐採による樹木の減少

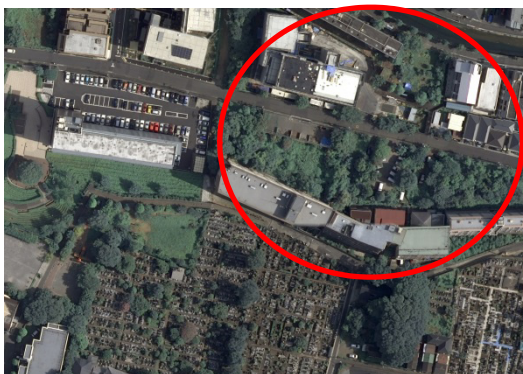


平成 19 年度

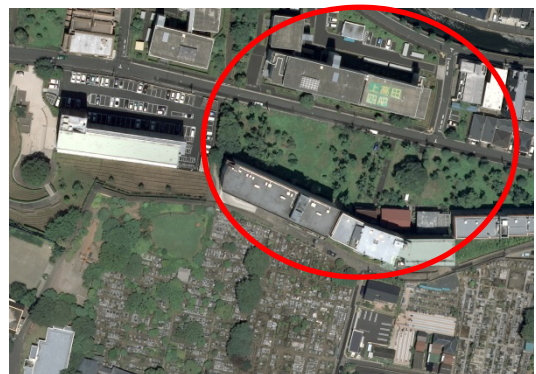


平成 28 年度

上高田四丁目：集合住宅敷地内の草地の増加



平成 19 年度



平成 28 年度

⑧新井

新井の緑被地は、11,452 m²増加した。樹木は 10,979 m²の増加、草地は、684 m²の増加であった。屋上緑化は-211 m²の減少であった。

【主な緑被等の変化要因等】

- ・ 主な樹木の増加箇所は、平和の森公園周辺の空地における樹木の生長、中野通りにおける街路樹の生長によるものであった。
- ・ 主な草地の増加箇所は、平和の森公園周辺の住宅の更地化によるものであった。
- ・ 主な屋上緑化の減少箇所は、新井一丁目の集合住宅における屋上緑化の減少によるものであった。

中野通りにおける樹木の生長



平成 19 年度



平成 28 年度

新井一丁目：集合住宅の屋上緑化の減少



平成 19 年度



平成 28 年度

⑨沼袋

沼袋の緑被地は、-3,668 m²減少した。樹木は-4,951 m²の減少、草地は、1,205 m²の増加であった。屋上緑化は 79 m²の増加であった。

【主な緑被等の変化要因等】

- ・ 主な樹木の減少要因は、沼袋一丁目の氷川神社周辺の駐車場整備及び大規模な住宅地の開発に伴う樹木の減少によるものであった。
- ・ 主な草地の増加要因は、住宅地の更地化によるものであった。

沼袋一丁目：駐車場整備・住宅地開発による樹木の減少



平成 19 年度



平成 28 年度

⑩松が丘

松が丘の緑被地は、4,196 m²増加した。樹木は5,692 m²増加した。草地は-1,446 m²の減少、屋上緑化は-50 m²の減少であった。

【主な緑被等の変化要因等】

- ・ 主な樹木の増加箇所は、哲学堂公園の樹木生長による増加（一部草地の減少）、江古田公園、えこたばしポケットパークの樹木の生長、また中野通りの街路樹の生長によるものであった。
- ・ 主な草地の減少要因は、空地の宅地化によるものであった。

中野通りの樹木（街路樹）の生長



平成 19 年度



平成 28 年度

江古田公園・えこたばしポケットパークの樹木の生長



平成 19 年度



平成 28 年度

⑪江原町

江原町の緑被地は、-4,074 m²減少した。樹木は-5,496 m²減少であった。草地は、1,628 m²の増加、屋上緑化は-206 m²の減少であった。

【主な緑被等の変化要因等】

- ・主な樹木の減少要因は、江原町二丁目の住宅地の開発によるものであった。
- ・主な草地の増加箇所は江原小学校における校庭芝生化、江原三丁目における住宅地の更地化や開発による草地の増加であった。

江原町二丁目：住宅地の開発による樹木の減少



平成 19 年度



平成 28 年度

江原小学校の校庭芝生化



平成 19 年度



平成 28 年度

⑫江古田

江古田の緑被地は、-12,652 m²減少した。樹木は-14,416 m²の減少であった。草地は1,594 m²の増加、屋上緑化は170 m²の増加であった。

【主な緑被等の変化要因等】

- ・ 主な樹木の減少箇所は、江古田三丁目地区の国家公務員宿舎跡地を活用した集合分譲住宅等の整備工事に伴う一時的な更地化によるものである。また、空地における住宅建設に伴う樹木の減少も確認された。一部、中野通りの街路樹の生長、公園内の樹木の生長に伴う樹木の増加が確認された。
- ・ 主な草地の増加箇所は、私立みずのとうやはた幼稚園内における芝生地の整備、水道局野方公舎1号棟に隣接していた施設の更地化による草地の増加によるものである。
- ・ 主な屋上緑地の増加箇所は、江古田二丁目の高齢者施設における屋上緑地の増加によるものであった。

江古田の森公園の樹木の減少

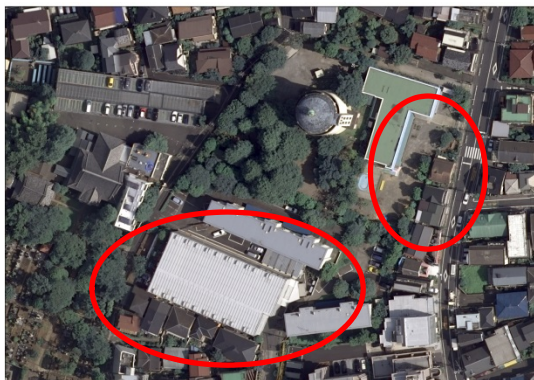


平成 19 年度



平成 28 年度

私立みずのとうやはた幼稚園の草地の増加/水道局野方公舎1号棟南側施設の更地化



平成 19 年度



平成 28 年度

⑬丸山

丸山の緑被地は、-4,254 m²の減少であった。樹木は-3,631 m²の減少、草地は-631 m²の減少、屋上緑化は9 m²の増加であった。

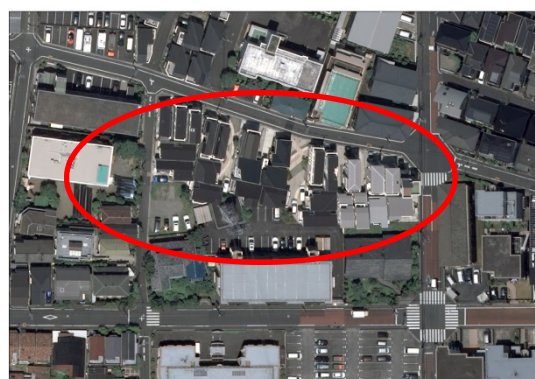
【主な緑被等の変化要因等】

- ・ 主な樹木及び草地の減少要因は、丸山二丁目の分譲戸建て住宅の建設によるものであった。また丸山公園において樹木の減少が確認された。

丸山二丁目の分譲戸建て住宅の建設による樹木・草地の減少



平成 19 年度



平成 28 年度

丸山公園の樹木の減少



平成 19 年度



平成 28 年度

⑭野方

野方の緑被地は、3,043 m²の増加であった。樹木は-1,106 m²の減少、草地は3,244 m²の増加であった。屋上緑化は905 m²の増加となり町別で2番目に高い。

【主な緑被等の変化要因等】

- ・ 主な樹木の減少箇所は、野方団地（UR）の改修に伴うもので、緑地部分の整理があった。また野方六丁目の大規模住宅地の開発や空地の宅地化による樹木の減少も確認された。
- ・ 主な草地及び屋上緑化の増加箇所は、北原小学校の校庭芝生化・屋上緑化の整備によるものであった。

野方団地（UR）の建設による樹木の減少



平成 19 年度



平成 28 年度

北原小学校の校庭芝生化・屋上緑化



平成 19 年度



平成 28 年度

⑮大和町

大和町の緑被地は、3,295 m²の増加であった。樹木は 2,006 m²の増加、草地は 1,131 m²の増加、屋上緑化は 158 m²の増加であった。

【主な緑被等の変化要因等】

- ・ 主な樹木の増加要因は、学校や河川沿いの樹木や社寺境内の樹木の生長によるものであった。
- ・ 主な草地の増加箇所は、啓明小学校の校庭芝生化によるものであった。また、やはた幼稚園内の芝生化も確認された。
- ・ 主な屋上緑化の増加箇所は、大和町二丁目のやはた幼稚園の屋上緑化の整備によるものであった。

啓明小学校の校庭芝生化



平成 19 年度



平成 28 年度

やはた幼稚園の屋上緑化・草地の増加



平成 19 年度



平成 28 年度

⑩若宮

若宮の緑被地は、-3,756 m²の減少であった。樹木は-6,098 m²の減少、草地は2,224 m²の増加、屋上緑化は119 m²の増加であった。

【主な緑被等の変化要因等】

- ・主な樹木の減少は若宮三丁目の住宅の更地化、大規模住宅地内における住宅の開発及び集合住宅の新設に伴うものであった。若宮二丁目、若宮一丁目においても大規模住宅地内における分譲戸建て住宅の建設に伴う樹木の減少が確認された。
- ・主な草地の増加箇所は、啓明小学校における校庭芝生化によるものであった。また、若宮一丁目の住宅の更地化による草地の増加も確認された。
- ・主な屋上緑化箇所は、若宮一丁目及び若宮三丁目の集合住宅の新設に伴うものであった。

若宮三丁目：住宅地内における住宅の開発、集合住宅の新設による樹木の減少



平成 19 年度



平成 28 年度

若宮一丁目：集合住宅の新設に伴う屋上緑化の増加



平成 19 年度



平成 28 年度

⑰白鷺

白鷺の緑被地は、-20,789 m²の減少となり町別で2番目に減少値が大きい。樹木は-22,349 m²の減少、草地は、1,462 m²の増加、屋上緑化は98 m²の増加であった。

【主な緑被等の変化要因等】

- ・ 主な樹木の減少要因は、白鷺一丁目の集合住宅の更地化、保育園、高齢者施設の整備及び駐車場整備に伴う樹木の伐採、住宅地の緑地の更地化によるものであった。また社寺境内敷地の樹木の伐採も確認された。
- ・ 主な草地の増加箇所は、白鷺せせらぎ公園の整備に伴うものであった。

白鷺一丁目：社寺境内敷地の樹木の伐採・住宅地の緑地の更地化による樹木の減少



平成 19 年度



平成 28 年度

白鷺せせらぎ公園の整備に伴う草地の増加



平成 19 年度



平成 28 年度

⑩鷺宮

鷺宮の緑被地は、-21,514 m²の減少となり町別で最も減少値が大きかった。樹木は-17,705 m²の減少、草地は-3,904 m²の減少といずれも町別で2番目に減少値が大きかった。屋上緑化は95 m²の増加であった。

【主な緑被等の変化要因等】

- ・ 主な樹木の減少要因は、鷺宮三丁目の大規模集合住宅の新設、大規模住宅地の開発や中杉通りの街路樹の剪定または植え替えに伴う樹木被覆地の減少であった。また、鷺宮四丁目における大規模住宅地の更地化、住宅地における駐車場整備、空地における住宅の建設に伴う減少が確認された。
- ・ 主な草地の減少要因は、鷺宮一丁目及び二丁目の空地への分譲戸建て住宅の建設による樹木及び草地の減少や大規模住宅地への商業施設の新設に伴う樹木・草地の減少によるものであった。

鷺宮三丁目：鷺宮三丁目の大規模集合住宅の新設に伴う樹木の減少



平成 19 年度



平成 28 年度

鷺宮一丁目：大規模集合住宅の新設に伴う樹木・草地の減少



平成 19 年度



平成 28 年度

⑬上鷺宮

上鷺宮の緑被地は、-10,559 m²減少した。樹木は-6,306 m²の減少であった。草地は、-4,581 m²の減少となり町別で最も減少値が大きい。屋上緑化は 328 m²の増加であった。

【主な緑被等の変化要因等】

- ・ 主な樹木の減少要因は、上鷺宮五丁目の集合住宅の新設や千川通り沿道の街路樹の剪定または植え替えによる樹冠面積の減少によるものであった。
- ・ 主な草地の減少箇所は、上記、上鷺宮五丁目の集合住宅の新設に伴うもの、上鷺宮五丁目空地における住宅の建て替え、上鷺宮三丁目における駐車場の宅地化や上鷺宮一丁目における空地の宅地化に伴うものであった。一部、都立稔ヶ丘高等学校の校庭芝生化により草地が増加した箇所もあった。
- ・ 主な屋上緑化の増加箇所は、上鷺宮五丁目の集合住宅、都立稔ヶ丘高等学校の屋上緑化によるものであった。

千川通り沿道の樹冠面積の減少による樹木の減少



平成 19 年度

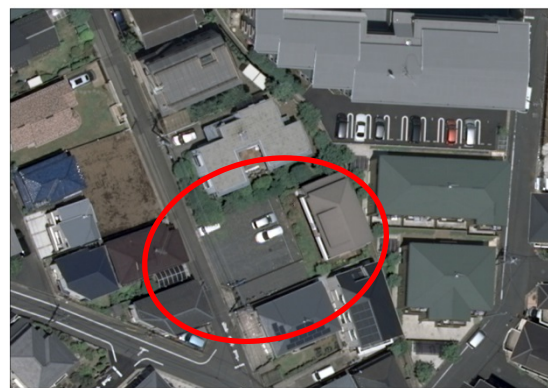


平成 28 年度

上鷺宮一丁目：空地の宅地化に伴う草地の減少



平成 19 年度



平成 28 年度

表 3-16(1) 町別緑被の経年変化

町名	調査年度				緑被地
		樹木	草地	屋上緑化	
南台	平成19年度	100,808	8,971	1,051	110,830
	平成28年度	97,824	9,132	1,432	108,388
	増減	-2,984	161	381	-2,442
弥生町	平成19年度	118,577	8,807	1,346	128,730
	平成28年度	118,883	13,639	2,079	134,601
	増減	306	4,832	733	5,871
本町	平成19年度	124,184	7,069	1,984	133,237
	平成28年度	117,722	17,329	2,052	137,103
	増減	-6,462	10,260	68	3,866
中央	平成19年度	133,784	7,893	1,201	142,878
	平成28年度	132,941	10,932	2,176	146,049
	増減	-843	3,039	975	3,171
東中野	平成19年度	122,591	5,884	1,459	129,934
	平成28年度	129,423	8,420	2,255	140,098
	増減	6,832	2,536	796	10,163
中野	平成19年度	193,781	9,232	4,457	207,471
	平成28年度	178,436	25,250	9,922	213,608
	増減	-15,346	16,018	5,465	6,137
上高田	平成19年度	157,961	7,459	875	166,296
	平成28年度	149,069	12,368	1,217	162,654
	増減	-8,892	4,909	342	-3,642
新井	平成19年度	121,953	27,115	1,360	150,428
	平成28年度	132,932	27,799	1,149	161,880
	増減	10,979	684	-211	11,452
沼袋	平成19年度	104,878	4,382	461	109,721
	平成28年度	99,926	5,587	541	106,054
	増減	-4,951	1,205	79	-3,668
松が丘	平成19年度	81,153	10,086	169	91,409
	平成28年度	86,846	8,640	119	95,604
	増減	5,692	-1,446	-50	4,196
江原町	平成19年度	96,107	5,751	859	102,717
	平成28年度	90,611	7,378	654	98,643
	増減	-5,496	1,628	-206	-4,074
江古田	平成19年度	178,159	9,936	851	188,946
	平成28年度	163,743	11,530	1,021	176,294
	増減	-14,416	1,594	170	-12,652
丸山	平成19年度	38,721	2,355	34	41,109
	平成28年度	35,089	1,724	42	36,855
	増減	-3,631	-631	9	-4,254

※面積は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

表 3-16 (2) 町別緑被の経年変化

町名	調査年度				緑被地
		樹木	草地	屋上緑化	
野方	平成19年度	116,618	6,787	339	123,743
	平成28年度	115,511	10,031	1,244	126,786
	増減	-1,106	3,244	905	3,043
大和町	平成19年度	93,793	5,731	343	99,866
	平成28年度	95,799	6,862	501	103,162
	増減	2,006	1,131	158	3,295
若宮	平成19年度	100,098	5,131	294	105,523
	平成28年度	93,999	7,355	413	101,767
	増減	-6,098	2,224	119	-3,756
白鷺	平成19年度	147,999	15,817	182	163,997
	平成28年度	125,649	17,279	280	143,208
	増減	-22,349	1,462	98	-20,789
鷺宮	平成19年度	143,645	10,541	120	154,306
	平成28年度	125,940	6,637	215	132,791
	増減	-17,705	-3,904	95	-21,514
上鷺宮	平成19年度	175,119	22,944	415	198,478
	平成28年度	168,813	18,363	743	187,919
	増減	-6,306	-4,581	328	-10,559
区全体	平成19年度	2,349,928	181,891	17,799	2,549,618
	平成28年度	2,259,157	226,255	28,053	2,513,465
	増減	-90,772	44,364	10,254	-36,153

※面積は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

5) 土地利用別の経年変化

平成 19 年度調査と平成 28 年度調査の土地利用別の緑被の経年変化を表 3-17 に示す。なお、平成 19 年度調査は、平成 18 年度の東京都土地利用現況データを用いており、平成 28 年度調査は、平成 23 年度の東京都土地利用現況データを用いているため、参考になっている土地利用と、緑被地面積の調査時点はそれぞれ異なる。

緑被地の増加が最も大きかったのは、教育施設 (16,684 m²) であった。次いで、集合住宅 (15,778 m²)、医療施設 (6,909 m²) である。緑被地が最も減少したのは、独立住宅 (-38,672 m²) であった。次いで、未建築宅地・未利用地 (-18,061 m²)、道路 (-14,754 m²) である。全体として土地利用面積が増えた用途の緑被地及び緑被率は増加している傾向にあるが、集合住宅では樹木率が-0.24 ポイント減少し、道路では-0.84 ポイント減少している。

また、緑被項目別に見ると、独立住宅における樹木の減少が-43,394 m²と著しい。草地と屋上緑地については、教育施設における増加が最も高い。

表 3-17(1) 土地利用別緑被の経年変化

(H28-H19)

区分	主用途	細分類	土地利用 面積	土地利用別			緑被地
				樹木	草地	屋上緑化	
公共用地	官公庁施設		227	1,037	10	-137	911
			0.00	1.90	0.02	-0.26	1.7
	教育文化施設	教育施設	12,991	-4,388	17,161	3,910	16,684
			0.08	-0.86	2.18	0.50	1.8
		文化施設	-249	506	-51	112	568
			0.00	2.60	0	0.55	2.91
		宗教施設	-2137	-1593	887	30	-676
			-0.01	-0.39	0.45	0.02	0.08
	厚生医療施設	医療施設	24,318	5,042	865	1,002	6,909
			0.16	4.86	1.10	1.33	7.28
		厚生施設	17,994	4,790	1,444	202	6,436
	供給処理施設		0.12	1.52	1.15	0.07	2.74
			-655	-1,213	265	0	-948
		供給施設	0.00	-15.15	3.91	0.00	-11.24
			2,570	5,801	-1,678	-49	4,074
		処理施設	0.02	8.16	-3.84	-0.09	4.23
	計		55,060	9,982	18,904	5,072	33,958
			0.35	-0.08	1.32	0.38	1.62
商業用地	事務所建築物		-13,093	-205	660	522	977
			-0.08	0.17	0.26	0.21	0.64
	専用商業施設	商業施設	14,380	666	197	25	888
			0.09	0.10	0.12	0.00	0.23
		公衆浴場等	-4,557	-158	6	2	-150
			-0.03	0.54	0.09	0.04	0.68
	住商併用建物		-47,143	-4,549	-657	-594	-5,800
			-0.30	-0.08	-0.06	-0.05	-0.19
	宿泊・遊興施設	宿泊施設	1,998	630	0	311	942
			0.01	4.25	0.00	1.92	6.18
		遊興施設	-683	188	80	-35	232
			0.00	1.00	0.41	-0.16	1.26
	スポーツ興行施設	スポーツ施設	-152	-792	368	1	-422
			0.00	-4.66	2.22	0.01	-2.43
		興行施設	85	114	1	0	115
	計		0.00	2.39	0.05	0.00	2.44
			-49,164	-4,107	656	232	-3,219
			-0.32	-0.04	0.07	0.03	0.06

上段:面積(m²):平成19年度と平成28年度の緑被面積の差

下段:緑被率(ポイント):平成19年度と平成28年度の緑被率の差

※面積・割合は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

表 3-17(2) 土地利用別緑被の経年変化

(H28-H19)

区分	主用途	細分類	土地利用 面積	緑被地			
				樹木	草地	屋上緑化	
住宅 用地	独立住宅		-13,814	-43,394	4,412	311	-38,672
			-0.09	-0.97	0.11	0.01	-0.86
	集合住宅		118,679	2,986	12,007	784	15,778
			0.76	-0.24	0.25	0.01	0.03
	計		104,865	-40,408	16,419	1,095	-22,894
			0.67	-0.66	0.18	0.01	-0.47
工業 用地	専用工業	専用工業・ 作業場	-17,540	-158	3	-61	-215
			-0.11	1.69	0.23	-0.13	1.79
	住居併用工場		-6,827	-486	98	33	-354
			-0.04	-0.03	0.18	0.07	0.21
	倉庫・運輸 関係施設	運輸施設 等	-2,742	-195	425	8	239
		倉庫施設 等	-0.02	-0.03	0.58	0.01	0.57
			-4,215	-1,148	339	-120	-929
			-0.03	-1.53	0.85	-0.18	-0.85
	計		-31,324	-1,986	866	-139	-1,260
			-0.20	0.11	0.48	-0.03	0.56
農業 用地	農林漁業施設		-989	15	-55	0	-40
			-0.01	13.07	-1.81	0.00	11.27
	屋外利用地・ 仮設建物		-7,906	7,622	-1,269	362	6,715
			-0.05	1.59	-0.22	0.07	1.44
	公園・運動場 等		-25,512	-16,862	4,202	44	-12,616
			-0.16	-0.70	1.08	0.01	0.39
	未建築宅地・ 未利用地		-73,258	-29,684	8,133	3,490	-18,061
			-0.47	-3.43	3.71	1.13	1.41
	道路		29,444	-19,277	4,426	97	-14,754
			0.19	-0.84	0.16	0.00	-0.67
	鉄道・港湾等		-1,121	553	607	1	1,161
			-0.01	0.32	0.34	0.00	0.66
	計		-78,352	-57,648	16,099	3,995	-37,554
			-0.50	-1.04	0.40	0.09	-0.54
農 用地	畑		-3,588	441	-9,055	0	-8,614
			-0.02	3.07	-18.70	0.00	-15.63
	水面・河川・水 路		2,139	2,670	530	0	3,200
			0.01	2.01	0.45	0.00	2.46
	森林		0	4	0	0	4
			0.00	0.88	0.00	0.00	0.88
	計		2,139	2,674	530	0	3,203
			0.01	2.00	0.45	0.00	2.44
その他			-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-
区全体			-303	-90,772	44,364	10,254	-36,153
			-	-0.58	0.28	0.07	-0.23

上段:面積(m²):平成19年度と平成28年度の緑被面積の差

下段:緑被率(ポイント):平成19年度と平成28年度の緑被率の差

※面積・割合は四捨五入により集計値が合わない場合がある。

3-4 緑被率調査のまとめ

区全体の緑被率から、大規模な公園や社寺林を有する JR 中央線沿線を境とした北側に位置する地域・町の緑被地面積が大きいことが確認された。

一方、小規模な公園を有する JR 中央線沿線より南側の区の中央及び南部の地域・町の緑被率は低いが、屋上緑化率が比較的高かった。緑被率が低い主な理由としては、南側に位置する町の 1 敷地の平均面積が緑被率の高い町と比較し小さいため、緑化余地が限られていることが挙げられる。

用途地域別の緑被等の状況からも区の中央から南部の緑被率が比較的低かった。区の中央から南部は第 1 種中高層住居専用地域が大半を占め、中央部には一部商業地域及び近隣商業地域が指定されている。これらの用途地域の建ぺい率が 80% であることも同地域の緑被率が低い主な要因として考えられる。

また、緑被率の高い区の北側に位置する地域・町（上鷺宮、鷺宮、白鷺）は、建ぺい率が 40%、50% の第 1 種低層住居専用地域に指定されており、建ぺい率が低い地域ほど緑被率が高いことが分かる。

土地利用別の緑被状況では、土地利用面積及び緑被地面積のいずれも住宅用地（独立住宅・集合住宅）が区全体の約半数を占めており、区の緑の核となっている。また、公園・運動場についても区全体面積に占める割合は約 3% と小さいが、緑被率は 56.92% と高いことから、区の重要な緑の構成要素であることが確認された。

平成 19 年度調査と平成 28 年度調査の緑被等の変化の調査結果では、緑被地面積全体では -3.61ha の減少であった。このうち樹木については、主に住宅地の開発等により多く減少した。草地と屋上緑化については、主に教育施設の校庭芝生化、集合住宅や福祉施設等の屋上緑化の整備による増加が確認された。

用途地域別の変化の状況では、区の北部に位置する第 1 種低層住居専用地域における緑被率の減少が最も高かった。その要因としては、集合住宅の新設、大規模住宅地内における分譲戸建て住宅や集合住宅の開発、福祉施設等の整備による樹木の減少であった。建ぺい率が低い用途地域であり、開発余地があることから住宅地の開発が進み樹木の減少が多くなったと考えられる。

町別の変化の状況では、緑被率が比較的高い区の北部に位置する町（白鷺、鷺宮、江古田等）における樹木の減少が顕著であった。これは前述の用途地域別の調査結果のとおり、開発余地のあることが要因であると考えられる。

土地利用別の変化の状況では、教育施設に次いで集合住宅の緑被地の増加が最も大きかった。未建築宅地・未利用地の緑被地面積の減少が大きかったのは、集合住宅が新設されたことによると考えられる。

独立住宅は、土地利用面積及び緑被地面積の減少がいずれも最も高く、特に

樹木の減少が高い結果であった。教育施設における緑被地の増加の主な要因は、校庭の芝生化と屋上緑化の増加が考えられる。また集合住宅の緑被地の増加は、主に集合住宅の新設に伴う草地や屋上緑化の整備によると考えられる。しかしながら集合住宅では樹木の減少が確認された。

区全体として、主に住宅用地（集合住宅、福祉施設等の公共施設、民間施設等）における開発が進んだことで樹木が減少していることが確認された。一方で、教育施設等の比較的大きな規模の施設における校庭芝生化や屋上緑化の整備、また集合住宅や公共・民間施設の新設に伴い草地や屋上緑化が整備される傾向にあることが確認されたことから、草地や屋上緑化が増加したと考えられる。

